

平成24年度

# 名古屋市美術館年報

2 0 1 2

# 目次

序	1
沿革	2
展覧会事業	3
1 常設展	3
(1)名品コレクション展	4
(2)常設企画展	11
2 特別展	12
教育普及事業	19
1 教育プログラム	19
1. 一般成人対象の事業	20
(1)講演会・解説会	20
(2)美術講座 コレクション解析学	21
(3)コンサート	22
(4)その他	22
2. 子ども対象の事業	24
(1)学校休業日の体験活動の推進	24
(2)夏休み こどもの美術館	25
(3)芸術と科学の杜・アート大会	26
(4)その他	26
3. 学校対象事業	27
(1)ボランティアによる学校団体向け ガイドトークの実績	27
(2)アートカード貸出実績	28
(3)出前アート体験	29
(4)就業・職業・職場体験及び 職場訪問受け入れ	31
(5)教員対象の講座	31
2 ボランティア	32
(1)ボランティア登録者	32
(2)定例会	32
(3)ガイド活動	33
(4)サポート活動	34
(5)その他	35
3 協力会	36
4 図書室	36
5 出版	37
資料	38
1 収集	38
(1)購入	39
(2)受贈	39
①資料	39
②特別資料	53
(3)資料収集状況一覧	54
2 保存・修復	55
3 貸出	56
入館者一覧	57
組織・予算	58
1 組織図	58
2 美術館協議会	58
(1)名古屋市美術館協議会委員	58
(2)名古屋市美術館協議会開催状況	58
3 職員	58
4 運営予算	58



# 序

## PREFACE

名古屋市美術館の平成24年度の活動をまとめた年報を発行いたします。

平成24年度は、開館25周年を翌年度に控え、年度末に空調機械の工事のために2ヶ月あまり休館させていただきました。開館以来、これほど長期間にわたる休館は初めてのことでしたが、おかげさまで工事は無事終了し、より安定した展示環境で作品をご覧いただくことができるようになりました。

作品の収集は依然として大変厳しい予算状況の中、新たに176点を収蔵品に加えることができました。赤瀬川原平の作品については、すでに代表作を何点か収蔵していましたが、今回新たに2点の梱包作品と多数の関連資料を収蔵することができ、この作家の全体像を俯瞰できる内容になりました。また田淵俊夫や青木野枝など、特別展で取り上げた作家からの寄贈に加えて、郷土作家についての貴重な資料などの発掘もあり、今年度も着実にコレクションの厚みを増すことができました。

特別展については、春先の「田淵俊夫展」にはじまり、地元の若手作家の発掘を目的としたポジション展の第四回展。そしてこちらも四回目となるロシア・エルミタージュ美術館の名品展。最後に豊田市美術館との共同開催となった「青木野枝展」まで、実に多彩で内容的にも充実したラインナップとなりました。また前年度に開催したレンブラント展と同様、エルミタージュ美術館展の会期前半が夏休みと重なっていたため、特に小中学生向けのセルフガイドを作成しましたが、こちらも大変好評をいただきました。特別展に対する関心は世代や性別によってまちまちですが、今後とも多くの方々の関心にお応えできるように多彩かつ充実した展覧会を企画していきたいと考えています。

常設展は例年通り、収集方針ごとに小テーマを設け、それぞれの作品の特徴を浮かび上がらせるように工夫してご覧いただきました。美術館の魅力の基本はコレクションであり、それをご紹介する常設展こそが活動の中心、という方針をさらに徹底するべく、作品の魅力をより分かりやすくお伝えする常設展を目指したいと思います。今年度は年度末に2ヶ月あまりにわたる臨時休館がありましたので、展示室もささやかなりニューアルとして壁塗りを行いました。色味を多少変えて塗りなおされた壁面は面目を一新。展示された作品の印象も少し変わったような気がします。

教育普及活動については、例年通り講演会や講座、常設展、特別展でのギャラリートーク、「キッズの日」や「夏休み子どもの美術館」といった子どもたち向けの事業、出前授業、教師のための美術館利用研修など、精力的に展開しました。特に近年は小中学校との連携を取っての活動が増えつつありますが、その一つとして11月3日に「アート大会」と銘打って白川公園全体を使ったイベントを新たに開催しました。当日は好天にも恵まれ、大勢の家族連れの皆さんがゲームなどに興じ、賑やかな中にも大変楽しい一日となりました。

名古屋市美術館は開館から25年の節目の年を迎えました。四半世紀というと大変長い時間のようにも感じますが、人間でいえばようやく一人前として認められたところでしょう。これからも一步一步着実に前に進みながら、一人でも多くの市民の方々に愛される美術館として成長していきたいと考えています。どうぞ今まで以上のご支援をいただきますよう、お願いいたします。

2013年11月

名古屋市美術館

## 沿革 HISTORY

- 昭和52年12月 「名古屋市基本構想」策定、同構想において美術館建設をめざす
- 昭和56年1月 市長、年頭記者会見において、美術館の具体化検討を発表
- 12月 市会、美術館建設のための調査費を議決
- 昭和57年2月 美術館調査委員会（委員長 豊岡益人愛知県立芸術大学学長）設置、美術館のあり方について諮問
- 4月 「名古屋市市民文化振興のための基金に関する条例」制定
- 昭和58年1月 美術館調査委員会「名古屋市美術館（仮称）基本構想について」答申
- 7月 美術館建設委員会（委員長 伊藤延男東京国立文化財研究所所長）設置
- 8月 美術館基本設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 10月 美術館資料収集審査委員会設置、資料の収集を開始
- 昭和59年3月 建築基本設計完了
- 9月 美術館実施設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 昭和60年1月 建築実施設計完了
- 2月 名古屋市文化顧問（安達健二 東京国立近代美術館長）委嘱
- 7月 美術館建設工事着手
- 昭和61年11月 「名古屋市美術館（仮称）収集作品展」を市博物館で開催
- 昭和62年4月 美術館開館準備顧問（谷隆夫 元名古屋市助役）委嘱
- 7月 美術館本体工事完成
- 10月 外構工事完成
- 昭和63年3月 「名古屋市美術館条例」制定
- 4月 美術館顧問（河北倫明氏）委嘱
- 4月 開館（館長 谷隆夫）
- 平成元年9月 博物館登録
- 平成5年9月 南側エレベーターの設置
- 平成7年6月 美術館長（剣持一郎 元名古屋市教育長）委嘱  
美術館顧問（谷隆夫 元館長）委嘱
- 平成10年10月 美術館参与（馬場駿吉 元名古屋市立大学教授）委嘱
- 平成11年6月 美術館長（小林龍郎 元名古屋市総務局長）委嘱
- 平成14年6月 美術館長（宮澤明倫 元名古屋市教育長）委嘱
- 平成18年6月 美術館長（渡辺豊彦 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱  
美術館参与（石黒鏘二 名古屋造形芸術大学名誉教授）委嘱
- 平成21年5月 美術館長（松永恒裕 元名古屋市総務局長）委嘱
- 6月 開館以来1,000万人目の入館者を迎える

平成24年度の常設展（名品コレクション展）は、例年のように、名古屋市美術館のコレクションを多角的に紹介することを目的として、総計3回の展示を各2名の学芸員がチームとなって、それぞれが独自のテーマを設定して開催する形式の4年目になりました。

名品コレクション展Ⅰにおいては、「エコール・ド・パリ」と「メキシコ・ルネサンス」のコレクションの出発点となった二人の作家（荻須高德と北川民次）を特集しました。荻須高德については、新たに津島高校時代の最初期の油彩画《津島風景》が寄贈され、また戦前のパリを描いた作品（4点）が寄託されたことを機会として、これまでコレクションしてきた戦後1950年代以降の作品（4点）とともに紹介しました。北川民次はメキシコ時代に野外美術学校の教師として活動しましたが、子どもたちの絵画から大きな影響を受けました。タスコでの教え子で画家となったアマドル・ルーゴ（1921～2002）の作品とともに、北川民次の作品を展示しました。「郷土の美術」では、名古屋の近代洋画の歴史において重要なグループであった「愛美社」と「サンサシオン」の画家たちの作品を総合的に紹介しました。これらの作品は、名古屋市美術館が20年以上にわたって、調査・研究を通してコレクションしてきたものです。

名品コレクション展Ⅱでは、「エコール・ド・パリ」では、同時代に登場した前衛的な美術である「キュビ

スムと抽象」絵画に、「メキシコ・ルネサンス」壁画運動の時代に「メキシコで活躍した女性作家」たち（カーロ、イスキエルド、モドッティ）の作品に、焦点を絞って展示しました。「郷土の美術」としては、戦前の「ディアスポラ（難民）」をドキュメントした写真集《流氓ユダヤ》と《北満のエミгранト》を紹介しました。

名品コレクション展Ⅲでは、「エコール・ド・パリ」の画家たちの「筆触（タッチ）と絵肌（マチエール）」について探究しました。「メキシコ・ルネサンス」では、「フリーダ・カーロとディエゴ・リベラ」の夫妻画家の作品と一緒に展示しました。「郷土の美術」では、久しぶりに郷土を代表する彫刻家たちの作品のなかから「戦後の抽象彫刻」を紹介しました。

「現代の美術」については、Ⅰの前期は「分割と統合」、Ⅰの後期は「色を楽しむ」、Ⅱは「ゆらぎ－光・水・大気」、Ⅲは「物語る絵画」というテーマで、年間を通して、現代美術のさまざまな側面を紹介しました。

常設企画展としては、「荒川修作の“MISTAKE”」と題して、新たに寄託された1960年代の初期作品（5点）を中心として、荒川芸術の原点となる図式（ダイアグラム）絵画について考察しました。

尚、今年度は空調設備の点検・整備のために臨時休館（1月7日～3月15日）したために、3月16日から翌年度の名品コレクション展Ⅰを開始しました。

# (1)名品コレクション展

Selected Works from the Collection of  
Nagoya City Art Museum

## 名品コレクション展 I

会期：2012年4月7日(土)～7月16日(月・祝)

常設展示室 1・2

☆：初出品

\*：寄託作品

i：前期4月7日(土)～5月20日(日)

ii：後期6月2日(土)～7月16日(月・祝)

### 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	
<b>コレクション解析学</b>						
1	荒川修作	自画像	1967	油彩、鉛筆・キャンバス	173.0×62.0	i
2	ポール・ストランド	『メキシカン・ポートフォリオ』	1932-33(1967)	フォトグラヴェール・紙 20点1組	40.3×31.4	ii

### エコール・ド・パリ：荻須高德の芸術

1	海老原喜之助	風景	1927	油彩・キャンヴァス	81.4×100.3	i・ii
☆ 2	荻須高德	津島風景	1920	油彩・板	22.0×32.0	i・ii
☆* 3	荻須高德	エドガー・キネ通りの市場	1929	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0	i・ii
☆* 4	荻須高德	引越屋	1930	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0	i・ii
☆* 5	荻須高德	セーヌ川、シテ島	1934	油彩・キャンヴァス	60.3×91.5	i・ii
☆* 6	荻須高德	"リカール"の広告があるタバコ屋	1954	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0	i・ii
7	荻須高德	洗濯場、オーヴェルヴィリエ	1958-59	油彩・キャンヴァス	116.3×89.2	i・ii
8	荻須高德	サン・ドニ河岸	1958-59	油彩・キャンヴァス	73.2×91.7	i・ii
9	荻須高德	ポールガール通り	1958-59	油彩・キャンヴァス	73.2×60.2	i・ii
10	藤田嗣治	自画像	1929	油彩、鉛筆、金箔・キャンヴァス	81.4×65.5	i・ii
11	キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	油彩・キャンヴァス	73.7×54.6	i・ii
12	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0	i・ii
13	ハイム・スーチン	農家の娘	c.1919	油彩・キャンヴァス	80.0×45.0	i・ii
14	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	i・ii
15	モーリス・ユトリロ	ラバン・アジュール	c.1913	油彩・キャンヴァス	50.0×65.0	i・ii

### 現代の美術(前期)：分割と統合

1	浅野弥衛	作品	1984	鉛筆・紙	各111.5×79.2	i
2	河原温	百万年ー未来	1982	ゼロックスコピー、ルーズリーフバインダー	各30.5×22.8×7.6	i
3	河原温	百年カレンダー(18,864日)	1984	フェルトペン・シルクスクリン・紙	70.4×131.5	i
4	河原温	APR. 5, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
5	河原温	APR. 6, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
6	河原温	APR. 7, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
7	河原温	APR. 8, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
8	河原温	APR. 9, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
9	河原温	APR. 10, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
10	河原温	APR. 11, 1987	1987	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0	i
11	桑山忠明	無題	1961	顔彩・紙、キャンヴァス	216.2×166.2	i
12	桑山忠明	無題	1969	アクリル・キャンヴァス	227.3×217.3	i
13	桑山忠祐	#D141	1973	アクリル・キャンヴァス	150.0×150.0	i
14	野水信	コの記号	1966	鉄	160.0×100.0×100.0	i
☆ 15	藤本由紀夫	TABLE MUSIC	1987	ミクストメディア	60.0×60.0×60.0	i
16	藤本由紀夫	THE SEPARATED	2005	ミクストメディア	102.0×70.0×5.0	i
17	三木富雄	耳	1972	アルミニウム	78.0×44.5×17.5	i
18	李禹煥	コレスポンダンス	1992	油彩・キャンヴァス	227.0×182.0	i
19	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i・ii
20	トニー・クラッグ	住処のある静かな場所	1984	木	155.0×105.0×60.0	i
21	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i・ii

## 現代の美術(後期):色を楽しむ

1	荒川修作	熱をもつものの中に入れること／私たち	1979-80	アクリル、鉛筆、コラージュ・キャンヴァス(4パネル)	254.0×692.0	ii
2	河原温	17 ENE. 69	1969	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	ii
3	河原温	MAY. 29, 1971	1971	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	ii
4	河原温	OCT. 26, 1977	1977	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	ii
5	河原温	AUG. 19, 1981	1981	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5	ii
6	草間彌生	ピンク・ボート	1992	ファイバーワーク、ボート	90.0×350.0×180.0	ii
7	桑山忠明	無題	1965	アクリル・キャンヴァス	247.7×215.9	ii
8	辰野登恵子	WORK 86-P-12	1986	油彩・キャンヴァス	291.0×218.0	ii
9	中西夏之	G/Z足元はオレンジ色 HOHO-1	1994	油彩・キャンヴァス	227.0×181.5	ii
*10	根岸芳郎	91-3-8	1991	アクリル・キャンヴァス	200.0×270.0	ii
11	元永定正	Work	1961	アクリル・キャンヴァス	118.0×93.0	ii
12	山本富章	無題	1987	ミクストメディア	286.0×382.0×16.0	ii
13	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i・ii
14	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i・ii
*15	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #1 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.0×59.7	ii
*16	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #2 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.0×59.7	ii
*17	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #3 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.3×59.9	ii
*18	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #4 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.0×59.7	ii
*19	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #5 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.1×59.7	ii
*20	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #6 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.1×59.7	ii
*21	ロイ・リキテンスタイン	積み藁 #7 (積み藁シリーズ)	1969	リトグラフ、スクリーンプリント	34.6×60.0	ii

## メキシコ・ルネサンス:アマドール・ルーゴと北川民次

1	北川民次	トラルバム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	i・ii
2	北川民次	老人	1932	油彩・キャンヴァス	76.0×61.0	i・ii
3	北川民次	タスコの山B	1934	油彩・板	45.5×60.6	i・ii
4	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	i・ii
5	ホセ・クレメンテ・オロスコ	白い神々	c. 1947	油彩・メゾナイト	71.0×91.5	i・ii
6	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	i・ii
7	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモックの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0	i・ii
8	ダビッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1962	デュコ・メゾナイト	80.2×61.2	i・ii
9	ルフィーノ・タマヨ	黒人の仮面(カーニバル)	1939	テンペラ・リンネル	44.8×60.4	i・ii
10	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(三層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i・ii
11	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	n. d.	油彩・キャンヴァス	59.7×69.0	i・ii
12	アマドール・ルーゴ	戦いの後のメキシコの女	1939	ピロキシリン・キャンヴァス、板	98.0×80.7	i・ii
13	アマドール・ルーゴ	龍舌蘭とサボテンと樹	1939	テンペラ・キャンヴァス	80.3×100.3	i・ii
14	アマドール・ルーゴ	鉱山の跡	1960	油彩・板	100.9×121.8	i・ii

## 郷土の美術(前期):「愛美社」の画家たち

1	伊藤敏博	自画像	1919	油彩・キャンヴァス	46.0×34.0	i
2	伊藤敏博	破れたる壺と四つのリンゴ	1919	油彩・キャンヴァス	61.0×45.5	i
3	大澤鉦一郎	老人	1917	油彩・キャンヴァス	40.9×31.8	i
4	大澤鉦一郎	リング三つ	1917	油彩・キャンヴァス	26.0×31.5	i
5	大澤鉦一郎	裸婦	1917	油彩・キャンヴァス	45.5×33.3	i
6	大澤鉦一郎	田舎の少年	1919	油彩・キャンヴァス	40.9×31.8	i
7	大澤鉦一郎	城のある風景	1920	油彩・キャンヴァス	60.9×45.7	i
8	加賀孝一郎	扇を持てる肖像	1947	油彩・キャンヴァス	41.0×31.8	i
9	加藤延三	橋のある風景(駄知西灶橋)	1917	油彩・キャンヴァス	32.3×40.0	i
10	加藤延三	茄子と椒	1928	油彩・キャンヴァス	23.5×33.2	i
11	岸田劉生	自画像	1914	インク・紙	29.5×18.5	i
12	木村莊八	りんご	1920	油彩・カルトン	17.0×24.3	i
13	藤井外喜雄	自画像	1919	鉛筆・紙	34.0×27.0	i
14	藤井外喜雄	自画像	1920	油彩・キャンヴァス	33.0×23.5	i
15	萬代比佐志	少女像	1921	鉛筆・紙	55.2×40.0	i
16	水野正一	風景、或る草の道	1919	油彩・キャンヴァス	72.5×53.5	i
17	水野正一	少女	1921	油彩・キャンヴァス	73.0×53.0	i
18	水野正一	自画像	c. 1922	油彩・キャンヴァス	45.7×38.3	i
19	水野正一	郊外風景	1922	油彩・キャンヴァス	72.5×90.8	i



20	宮脇 晴	夜の自画像	1919	油彩・キャンヴァス	61.0×45.7	i
21	宮脇 晴	卓上の林檎	1919	油彩・キャンヴァス	24.2×33.3	i
22	宮脇 晴	母の像	1921	油彩・キャンヴァス	68.8×61.0	i
23	宮脇 晴	少女像	1923	鉛筆・紙	39.0×28.5	i
24	宮脇 晴	男のトルソー素描	1925	インク・紙	35.5×26.5	i
25	山田睦三郎	一本の樹	c. 1919	油彩・キャンヴァス	53.0×41.0	i
26	山田睦三郎	自画像	1922	油彩・キャンヴァス	60.6×50.0	i
27	山田睦三郎	村娘	1923	油彩・キャンヴァス	41.0×31.8	i

## 郷土の美術(後期):「サンサシオン」の画家たち

1	大澤海蔵	初秋	1929	油彩・キャンヴァス	89.0×114.0	ii
2	鬼頭鍋三郎	夏日図	1924	油彩・キャンヴァス	45.5×53.4	ii
3	鬼頭鍋三郎	背向きの裸婦	1930	油彩・キャンヴァス	116.0×99.0	ii
4	鬼頭鍋三郎	手をかざす女	1934	油彩・キャンヴァス	191.0×129.0	ii
5	佐分 真	食後	c. 1931	油彩・キャンヴァス	130.3×162.1	ii
6	市ノ木慶治	二人の子供	1932	油彩・キャンヴァス	111.5×130.8	ii
7	遠山 清	マノハラ水浴	1928	油彩・キャンヴァス	73.0×90.7	ii
8	富澤有為男	姉	1928	油彩・キャンヴァス	91.0×72.8	ii
8	永井訟三	窓際の静物	c. 1930	油彩・キャンヴァス	73.5×91.0	ii
10	中野安治郎	静物	1931	油彩・キャンヴァス	70.0×89.0	ii
11	松下春雄	花を持つ女	1931	油彩・キャンヴァス	162.3×130.1	ii
12	松下春雄	外套を着た女	c. 1931-33	油彩・キャンヴァス	91.0×73.0	ii
13	山内静江	無聊	1925	油彩・キャンヴァス	72.5×60.5	ii
14	山内静江	雪江ちゃん	1926	油彩・キャンヴァス	60.0×79.0	ii

# 名品コレクション展Ⅱ

会期：2012年7月28日(土)～9月30日(日)

常設展示室1・2

## 出品作品

\*：寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
-----	-----	-----	-----	-------	---------

### コレクション解析学

1	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	(837) 郷愁の紫色の屋根	1981	水彩、エッグテンペラ、ポリビニール、油彩、ラッカー、銀箔・厚紙、アルミニウム	72.4×50.8
---	---------------------	----------------	------	--	-----------

### エコール・ド・パリ：キュビズムと抽象

1	コンスタンティン・ブランクーシ	うぶごえ	1917(1984)	ブロンズ	17.0×26.0×18.0
2	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0
* 3	アルベール・グレーズ	キュビズム 静物	n. d.	油彩・キャンヴァス	61.0×47.5
* 4	アントワーヌ・ペヴスナー	コンポジション	1915	油彩・パネルに裏打ちされたキャンバス	45.0×45.0
5	キスリング	新聞のある静物	1913	油彩・キャンヴァス	81.0×100.0
6	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0
7	マリー・ローランサン	サーカスにて	c. 1913	油彩・キャンヴァス	116.5×89.0
* 8	フェルナン・レジェ	青い背景のコンポジション	1930	油彩・キャンヴァス	92.0×60.0
* 9	ジャン・メッツァンジェ	静物	n. d.	油彩・キャンヴァス	49.0×60.0
10	アメデオ・モディリアアーニ	おさげ髪の少女	c. 1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4
11	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0
12	ジュール・パスキン	横たわるエリアーヌ	1929	油彩・キャンヴァス	73.2×92.6
13	パブロ・ピカソ	女	1922-23	エッチング・紙	11.8×7.9
14	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0
15	オシップ・ザツキン	扇を持つ女	1923	ブロンズ	84.0×35.0×31.0
16	東郷青児	帽子をかむった男(歩く女)	1922	油彩・キャンヴァス	60.9×49.9
17	藤田嗣治	自画像	1929	油彩・キャンヴァス	81.4×65.5

### 現代の美術：ゆらぎ一光、水、大気

1	荒川修作	大気の種類；意図としての空間	1982-83	アクリル・キャンヴァス 5 パネル	335.5×1,091.5
2	河原温	SEPT. 8, 1982	1982	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0
3	クガ・マリフ	拒否の太陽	1965	ミクストメディア	25.0×34.0
4	クガ・マリフ	題不詳	1963	水彩・色紙	42.0×30.5
5	桑山忠祐	# D141	1973	アクリル・キャンヴァス	150.0×150.0
6	小清水漸	夢の浮舟ー赤い舟	1987	木、石、水	85.0×300.0×40.0
7	庄司達	白い布による空間 '68- 6	1968/2003	綿布、糸、塗装金属フレーム	216.0×202.0×202.0 (布；89.5×89.5, 19枚)
* 8	杉本博司	Orpheum, California	1977	g. s. p.	42.2×54.4
9	内藤礼	ナーメンロス/リヒト	1995	色鉛筆・紙	42.0×30.5
10	内藤礼	ナーメンロス/リヒト	1995	色鉛筆・紙	42.0×30.5
* 11	根岸芳郎	1991/ 3 / 8	1991	アクリル・キャンヴァス	200.0×270.0
12	福岡道雄	琵琶湖の風	1982	FRP	183.8×120.7×47.1
13	山田正亮	Work D. 52	1972	油彩・キャンヴァス	227.5×162.0
* 14	アニッシュ・カプーア	Void No. 3	1989	顔料・ファイバーグラス	121.9×121.9×91.4
15	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5
16	李禹煥	風とともに	1990	油彩・キャンヴァス 4 パネル	260.0×776.0
17	アグネス・マーチン	無題No. 3	1992	アクリル・キャンヴァス	183.0×183.0
18	イサム・ノグチ	死すべきもの	1959-62	ブロンズ	190.0×51.0×48.0
19	エドワード・ルッシェ	20世紀	1988	油彩・キャンヴァス	150.0×368.0
20	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7

### メキシコ・ルネサンス：メキシコで活躍した女性作家

1	レオノーラ・キャリントン	彫刻／ハゲワシ	2010	ブロンズ	15.2×26×11.0
2	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7

3	マリア・イスキエルド	旅人の肖像(アンリ・ド・シャティヨン <sup>(1)</sup> の肖像)	c.1940	油彩・キャンヴァス	160.0×190.0
4	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0
5	ティナ・モドッティ	スタジアムの外観	1927	ゼラチンシルバープリント・紙	24.0×18.9
6	ティナ・モドッティ	ブルケリア;犬、マリオネット、ステージセット	1929	ゼラチンシルバープリント・紙	18.7×20.2
7	ティナ・モドッティ	操り人形のルネ・ダルノンクール	1929	ゼラチンシルバープリント・紙	23.7×18.7
8	ティナ・モドッティ	アステカの赤子	c.1926-27	ゼラチンシルバープリント・紙	23.1×18.5
9	ティナ・モドッティ	ユダ(メキシカンフォークウェイズ1926年6号掲載)	1926	印刷・紙	
10	ティナ・モドッティ	母、メキシコ (メキシカンフォークウェイズ1926年4-5号掲載)	1926	印刷・紙	
11	ティナ・モドッティ	ハリスコ州のマリアッチ、WITH CONCHA MICHEL (メキシカンフォークウェイズ1927年3号掲載)	1927	印刷・紙	
12	ティナ・モドッティ	オフレンドアの玩具 (メキシカンフォークウェイズ1927年4号掲載)	1927	印刷・紙	
13	ティナ・モドッティ	CHICONCUACでコリドを歌う、メキシコ (メキシカンフォークウェイズ1928年4号)	1928	印刷・紙	
14	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	
15	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(三層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3
16	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモックの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0
17	ダビッド・アルファロ・シケイロス	奴隷	1961	アクリル・板	86.4×64.8
18	ルフィーノ・タマヨ	横笛を吹く人	1983	油彩・キャンヴァス	129.0×95.5
19	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4
20	北川民次	トラルパム壺園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8

## 郷土の美術:ディアスポラー亡国者の群れ

### 《流氓ユダヤ》

1	田淵銀芳	流氓ユダヤ-題不詳(中庭)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3
2	田淵銀芳	流氓ユダヤ-題不詳(ベッド)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3
3	田淵銀芳	流氓ユダヤ-父子	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3
4	田淵銀芳	流氓ユダヤ-チェス	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3
5	田淵銀芳	流氓ユダヤ-男	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	30.1×20.1
6	椎原治	流氓ユダヤ-仲間	1941	g.s.p.	30.9×43.7
7	椎原治	流氓ユダヤ-ヘブライの書	1941	g.s.p.	31.8×41.4
8	椎原治	流氓ユダヤ-仮睡	1941	g.s.p.	35.7×43.2
9	椎原治	流氓ユダヤ-窓	1941	g.s.p.	30.3×25.0
10	川崎亀太郎	流氓ユダヤ-題不詳(姉妹)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.1
11	川崎亀太郎	流氓ユダヤ-題不詳(少女)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.1×29.9
12	川崎亀太郎	流氓ユダヤ-題不詳(門前)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.1

### 《北満のエミгранト》

13	一色辰夫	牧歌・カザックの村-祈り	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミгранト』より	36.6×28.0
14	一色辰夫	牧歌・カザックの村-墓標	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミгранト』より	36.6×28.0
15	一色辰夫	牧歌・カザックの村-乳	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミгранト』より	36.6×28.0
16	一色辰夫	牧歌・カザックの村-村の会堂	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミгранト』より	36.6×28.0
17	一色辰夫	牧歌・カザックの村-厨	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミгранト』より	36.6×28.0
18	松岡謙一郎	麦	1938	コロタイプ印刷、 写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	27.2×20.4
19	松岡謙一郎	尼僧	1938	コロタイプ印刷、 写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	24.5×20.5
20	松岡謙一郎	静日	1938	コロタイプ印刷、 写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	25.6×20.3
21	松岡謙一郎	井戸	1938	コロタイプ印刷、 写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	26.3×20.4
22	馬場八潮	ロマノフカ21-3	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0
23	馬場八潮	ロマノフカ21-17	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0
24	馬場八潮	ロマノフカ21-19	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0
25	馬場八潮	ロマノフカ21-21	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0
26	馬場八潮	スタディ・シート11-1	c.1939	g.s.p. コンタクトプリント	19.8×25.0
27	馬場八潮	スタディ・シート11-3	c.1939	g.s.p. コンタクトプリント	19.8×25.0
28	馬場八潮	スタディ・シート11-7	c.1939	g.s.p. コンタクトプリント	19.8×25.0

# 名品コレクション展Ⅲ

会期：2012年10月13日(土)～2013年1月6日(日)

常設展示室1・2

## 出品作品

\*：寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
-----	-----	-----	-----	-------	---------

## コレクション解析学

1	ディヴィッド・ホックニー	6つのグリム童話のための挿絵より5点	1969(1970)	エッチング、アクアチント・紙	各46.0×62.0(紙サイズ)
---	--------------	--------------------	------------	----------------	------------------

## エコール・ド・パリ：筆触(タッチ)と絵肌(マチエール)

1	海老原喜之助	群鳥	1931	油彩・キャンヴァス	100.0×73.2
2	岡鹿之助	魚	1927	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0
3	荻須高德	ボールガール通り	1958-59	油彩・キャンヴァス	73.2×60.2
4	藤田嗣治	自画像	1929	油彩、鉛筆、金箔・キャンヴァス	81.4×65.5
5	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0
6	ジョン・ディアマン	風景	c.1824-56	油彩・板	22.6×30.4
7	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0
8	キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	油彩・キャンヴァス	73.7×54.6
9	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0
10	マリー・ローランサン	アポリネールの娘	c.1924	油彩・キャンヴァス	73.1×54.0
11	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4
12	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0
13	ハイム・スーチン	農家の娘	c.1919	油彩・キャンヴァス	80.0×45.0
14	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910	油彩・厚紙	73.1×92.0
15	モーリス・ド・ヴラマンク	雪の村	1940年代	油彩・キャンヴァス	54.2×65.0

## 現代の美術：物語る絵画

1	エドワード・アーリントン	サチュルヌス	1988	インク、乳剤・紙、キャンヴァス	183.0×244.0
2	アンゼラム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5
3	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7
4	ジェニー・ワトソン	この絵は画家が長距離ドライブに出掛けた後に描かれた ／眠る少女	1992	アクリル・絹／アクリル・キャンヴァス	絵／50.0×104.0 文／41.0×30.0
5	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	(463A) 血の在る家庭	1973	日本製木版画・紙	47.5×37.0(54.0×43.0)
6	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	(824) 彼方との対話	1985	銅版画・紙	40.0×53.5(62.0×76.0)
7	福田美蘭	陶器(スルバランによる)	1992	カラー写真	46.2×85.7×3.3
8	福田美蘭	陶器(スルバランによる)	1992	カラー写真、レンチキュラー・レンズ	47.9×86.0×3.5
9	森村泰昌	兄弟(虐殺Ⅰ)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×309.0
10	森村泰昌	兄弟(虐殺Ⅱ)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×309.0
11	岡本太郎	明日の神話	1968	油彩・キャンヴァス	132.7×728.9
12	河原温	カム・オン・マイ・ハウス	1955	油彩・キャンヴァス	125.0×181.0
13	芥川紗織	神話より	1957	染色・木綿	162.3×130.3
14	芥川紗織	民話(1)	1958	染色・木綿	162.0×112.3
*15	杉戸洋	Elephant(p.p)	2000	アクリル・顔料、紙	220.0×178.0
*16	杉戸洋	Red Eye	2000	アクリル・顔料、紙	38.0×45.5

## メキシコ・ルネサンス：フリーダ・カーロとディエゴ・リベラ

1	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0
2	フリーダ・カーロ	オブジェによる自画像	1946	ミクストメディア	90.0×90.0×10.7(額サイズ)
3	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(三層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3
4	ディエゴ・リベラ	スペイン風景(トレド)	1913	油彩・キャンヴァス	89.0×110.0
5	ディエゴ・リベラ	ヘンリー・ノーウェッグの肖像	1935	油彩・板	115.1×91.2
6	ディエゴ・リベラ	自画像	1930	リトグラフ・紙	44.9×32.8
7	ディエゴ・リベラ	腕をあげ腰掛ける裸婦	1930	リトグラフ・紙	63.0×42.5

8	ディエゴ・リベラ	タコスを持つ子供	1932	リトグラフ・紙	44.5×31.8
9	ディエゴ・リベラ	大地の果实	1932	リトグラフ・紙	55.3×39.9
10	ディエゴ・リベラ	夢	1932	リトグラフ・紙	42.5×30.5
11	ディエゴ・リベラ	野外学校	1932	リトグラフ・紙	38.9×53.8
12	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9
13	ダビッド・アルファロ・シケイロス	婦人像	1934	油彩・メゾナイト	152.7×78.7
14	ルフィーノ・タマヨ	乗り遅れた乗客	1946	油彩・キャンヴァス	97.2×84.0
15	北川民次	トラルパム壺園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8

## 郷土の美術：戦後の抽象彫刻

1	清水九兵衛	作品 A	1971	アルミニウム合金	75.1×257.0×26.0
2	沈文燮	[木神]8707	1987	木	73.0×38.0×25.0
3	沈文燮	[木神]9019	1990	木	130.0×57.0×28.0
4	庄司達	白い布による空間 '68- 6	1968 (2003)	綿布、糸、塗装金属フレーム	216.0×202.0×202.0
5	辻耕治	Along the Circle IX	1987	スチール	250.0×40.0×40.0
6	野水信	コの記号	1966	鉄	160.0×100.0×100.0
7	若林奮	Everest Hotel VI	1991	アクリル、麻、石膏、鉄、硫黄、木	95.0×74.5×71.0
8	若林奮	Everest Hotel VII	1991	アクリル、麻、石膏、鉄、硫黄、木	95.0×74.5×71.0

## (2)常設企画展 Thematic Exhibition

### 荒川修作の“MISTAKE”

The Meaning of “MISTAKE” by ARAKAWA

会期：2012年4月1日(日)～5月20日(日)

#### 会場

常設展示室3

#### 内容

名古屋出身の世界的な現代美術家・荒川修作は、1960年代から文字や記号、幾何学的な図式による絵画によって、人間の知覚や思考に働きかける作品を探究しはじめて、1980年代からは、人間の身体感覚を揺さぶる建築的な作品に取り組んで、世界各地で活発な活動を展開したが、残念なことに、一昨年2010年5月19日に73歳で急逝した。

名古屋市美術館では、荒川修作を重要作家のひとりと位置づけて、これまでに初期から晩年までの各時期の代表作(総計16点)を収蔵するとともに、2005年には、特別展として「荒川修作を解説する」展を開催してきた。

今回の常設企画展では、没後2年を記念して、新たに寄託された作品(5点)を中心に、荒川修作芸術の出発点となる図式絵画が確立した時代(1960年代頃)の作品を紹介した。

この関連事業として、荒川修作の初期作品が展示された名古屋市美術館という「場」において、荒川修作へのオマージュとして、世界的に活動するダンサー・田中泯が「場踊り」を行った。

#### 関連事業

##### コレクション解析学

日時：2012年5月13日(日)午後2時～

演題：「荒川修作の“MISTAKE”」

講師：山田諭(名古屋市美術館学芸員)

##### 田中泯の「場踊り」－荒川修作へのオマージュ

日時：5月20日(日)午後3時～

講師：田中泯(ダンサー)

会場：名古屋市美術館・常設展示室3～地階ロビー周辺

(入場無料)



会場風景

#### 出品作品

\*：寄託作品

* 1	地図を作ることの報告	1961-62年	油彩、アクリル、鉛筆・キャンヴァス	122.0×183.0
* 2	彫刻することNo. 3	1962-63年	油彩、アクリル、鉛筆・キャンヴァス	152.5×183.0
* 3	無題	1963年	油彩、アクリル、鉛筆・キャンヴァス	165.0×246.5
* 4	最期の次	1966-67年	油彩、アクリル・キャンヴァス	244.0×327.0
5	自画像	1967年	油彩、鉛筆・キャンヴァス	173.0×62.0
6	35フィート×7フィート6インチ、126ポンド No. 2	1967-68年	アクリル、コラージュ・キャンヴァス	225.0×1,067.5
* 7	クールベのキャンヴァス	1972年	油彩、アクリル・キャンヴァス	175.5×254.5

平成24年度は、年度末の1月から3月にかけて空調工事のために休館となったために、4月から12月までの間に4本の特別展を開催しました。年度最初の特別展は、現代日本画を代表する作家の一人であり、愛知県立芸術大学で15年にわたり教鞭を執った田淵俊夫のほぼ半世紀にわたる活動を回顧しました。「いのちの煌き」という副題にあるとおり、植物や風景を主題に描かれた作品の数々は、抜群の技術と日本画独特の装飾性を兼ね備えた高い完成度を誇るだけでなく、生きとし生けるものに対する限りない愛情をその裏に秘め、静かな感動で会場を満たしました。とりわけ2階の展示室の大部分を占めた作品《惶》は、前年の東日本大震災の被害者に対する作者の鎮魂の思いをこめた畢生の大作で、水墨表現の深みの中に伝統と現代を見事に融合させた作品として圧倒的な共感をもって迎えられました。日本画の素晴らしさとその可能性について、あらためて認識させてくれる展覧会となりました。

田淵俊夫展に続いて、6月から7月にかけては地元の現代美術の動向を紹介する「ポジション2012」を開催しました。地方美術館にとって郷土美術の歴史の調査発掘や、地元の作家の育成紹介は不可欠の活動ですが、このポジション展は若手作家を紹介する展覧会として、過去に3度（1994年、1997年、2003年）開催されてきました。前回開催してから10年近くの時間が経ってしまいましたが、4回目となった今回の展覧会では地元で活躍する10人の作家を紹介しました。素材も技法も全く異なる10人の作家の表現は実に多彩で、現代美術の面白さと幅広さを十分に堪能できる内容となりました。会期中様々な関連イベントも開催され、そこでは来館者と出品作家とが親しく交流する機会も多く、現代美術の展覧会ならではの親密な雰囲気を楽しむことができました。

続いて7月末から9月末にかけては、ロシアのエル

ミタージュ美術館の名品を紹介する「大エルミタージュ美術館展」を開催しました。名古屋市美術館でエルミタージュ美術館のコレクションを紹介するのは実に4回目となります。いずれも多くの方をお迎えしていますが、今回の展覧会は「世紀の顔」と題して16世紀から20世紀にかけて、各時代を代表する、まさに「顔」と呼ぶべき巨匠たちの代表作89点をご覧いただきました。一つの美術館のコレクションで、西欧絵画の歴史の本流をまるごと紹介できる、というところがエルミタージュの凄さですが、加えて各作家の代表作とも呼ぶべき質の高い作品が並んだ会場はまさに圧巻でした。とりわけ19世紀前半までの作品が展示された1階の会場は、大作が多かったこともあり、来館者を圧倒するような迫力に満ちていました。会期の前半は夏休みと重なっていたこともあり、大勢の小中学生が来館しましたが、子どもたち向けに作成したセルフガイドも好評で、ガイドを片手に親子揃って会場を回る姿がいたるところで見られました。

10月から12月にかけて開催した「青木野枝展」が今年度最後の特別展となりました。この展覧会は豊田市美術館との連携企画という形をとり、一人の作家の全貌を二つの会場を使って紹介するという初めての試みとなりました。現代美術の作品の展示の場合、空間と作品との関係が非常に重要になりますが、今回の展覧会では二つの美術館の展示空間の特徴を十分に生かした展示が実現されました。名古屋市美術館の会場では、初めての試みとして移動壁を一切使わずに、広々とした空間の中に作品を配置するという展示を行いました。展示室の中で溶接され完成した作品は、鉄という重く堅い素材の特性を忘れさせるかのような軽やかさと伸びやかさにあふれ、また無機質でありながら生命の循環を感じさせる温かみも備え、ゆったりとした空間の中で来館者を魅了しました。

# いのちの煌めき 田淵俊夫展

TABUCHI Toshio: A Retrospective

会期：2012年4月7日(土)～5月20日(日)

## 主催

名古屋市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送

## 後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

## 協力

名古屋市交通局

## 観覧料

一般：1,100円、高大生：700円、小中生：400円

## 内容

かつて愛知県立芸術大学で助手、講師、助教授をつとめ、現在も客員教授であるなど、当地方に大変縁のある作家である田淵俊夫(1941-)は、現在、日本美術院代表理事として、現代日本画壇の最も重要な作家の一人として活躍している。

今回の大規模な回顧展では、45年におよぶ画歴を下記の4章に分け、大学卒業後の初期作品から、院展出品作を中心とした重要作品、田淵芸術の本質を語るにふさわしい作品を選び、大型の新作2点とともに、約50点で紹介した。

- I章 『田淵様式の萌芽』 ～1969
- II章 『開花・充実期』 1970～1984
- III章 『発展・拡張期』 1985～2000
- IV章 『水墨画、障壁画への挑戦』 2001～

## 図録

27.5×22.5cm 184頁

編集：名古屋市美術館、中日新聞社

発行：中日新聞社

## 関連事業

特別講演会「自作を語る」

日時：4月7日(土)午後2時～

講師：田淵俊夫(出品作家)

会場：2階講堂、無料

講演会

日時：4月15日(日)午後2時～

講師：神谷浩(名古屋市博物館副館長)

会場：2階講堂、無料

記念対談

日時：4月22日(日)午後2時～

講師：田淵俊夫+神谷浩

会場：2階講堂、無料



ポスター



図録



会場風景



# ポジション2012 名古屋発現代美術 この場所から見る世界

Position 2012 / Contemporary Art from Nagoya  
The World seen from this Position

会期：2012年6月2日(土)～7月16日(月・祝)

## 主催

名古屋市美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知

## 後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

## 協賛

石塚硝子株式会社

## 協力

名古屋市交通局、セントラル画材、キャノンマーケティングジャパン株式会社

## 観覧料

一般：1,000円 高大生：700円 小中生：400円

## 内容

名古屋市美術館では、1994年、1997年、2003年と三回にわたって、この地方の現代美術を紹介する展覧会を開催してきた。今回は第4回目の展覧会として、この地方で活躍する10名の作家(青田真也、大崎のぶゆき、川見俊、坂本夏子、佐藤貢、設楽陸、田島秀彦、判治佐江子、文谷有佳里、山田純嗣)を紹介した。

独特な文化背景を持つ名古屋という都市を中心とするこの地方に拠点を置き、この場所で育まれた感性を活かして表現する作家たちの作品は、東京を中心とした首都圏に生活基盤を置く作家たちとは違った方向性を持っている。また、同時に若々しくフレッシュな感性を持つ作家たちの作品からは、この地方の現代の様相が浮かび上がってくる。「内省的」というキーワードをテーマに、絵画、映像、写真、インスタレーションなど様々な表現媒体で制作された作品を紹介した。

## 関連催事

### 出品者によるギャラリートーク

- 日時：6月2日(土)午後2時～ 青田真也、坂本夏子、佐藤貢  
6月9日(土)午前11時～ 川見俊  
午後3時～ 文谷有佳里  
6月16日(土)午後2時～ 設楽陸、田島秀彦、判治佐江子  
7月14日(土)午前11時～ 大崎のぶゆき、山田純嗣  
場所：ポジション展会場内、各出品作家の場所、要入場券

### 滞在制作

文谷有佳里(出品作家)が美術館の大きな窓ガラスに線を描いた。

- 日時：6月2日(土)、9日(土)、10日(日)、7月7日(土)、8日(日)、14日(土)

場所：地下1階ロビー、無料



ポスター



図録



会場風景

コンサート&制作パフォーマンス

文谷有佳里(出品作家)と高山葉子(作曲家)によるコラボレーション

出演:宇多村仁美、木村真弥、福田さくら、安田奈央

日時:6月2日(土)午前11時～ 6月9日(土)午後2時～

7月7日(土)、14日(土)午後2時～

7月16日(月・祝)午後3時～

場所:地下1階ロビー、無料

《地方のグラス》プレゼント&サイン会

川見俊(出品作家)が出品作品《地方のグラス》にサインをしてプレゼントした。

日時:6月9日(土)午前11時～

7月16日(月・祝)午後2時～

場所:ポジション展会場内、川見俊作品展示場所、要入場券

カフェ

青田真也(出品作家)とカフェユニット、L PACK(小田桐奨・中島哲矢)によるコラボレーション

日時:6月2日(土)、3日(日)午後1時～

場所:サンクンガーデン、無料

公開制作・ワークショップ「溶ける絵画 water drawing 水面に広がる不確かな世界」

大崎のぶゆき(出品作家)と一緒に作品を制作した。

日時:6月3日(日)午後0時30分受付開始

制作:午後1時～4時

場所:2階講堂、無料

トーク「ポジション展ができるまで」

原沢暁子、笠木日南子(担当学芸員)と佐久間要(展覧会デザイナー)がポジション展についての話をした。

日時:6月30日(土)午後2時～

場所:2階講堂、無料

# 大エルミタージュ美術館展 ～世紀の顔 西欧絵画の400年～

400 Years of European Masterpieces from the State Hermitage Museum

会期：2012年7月28日(土)～9月30日(日)

## 主催

名古屋市美術館、中京テレビ放送、読売新聞社、エルミタージュ美術館

## 後援

外務省、在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁、愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

## 特別協賛

大和ハウス工業

## 協賛

光村印刷、日本興亜損保、東海東京証券、パナソニック

## 協力

フィンエアー、エールフランス航空、KLMオランダ航空、日本通運、名古屋市交通局、JR東海

## 観覧料

一般：1,500円、高大生：1,000円、小中生：600円

## 内容

ロシア、サンクトペテルブルグにあるエルミタージュ美術館は、300万点以上の所蔵作品を有する世界有数の美術館として知られる。名古屋市美術館では過去に3度のエルミタージュ美術館展を開催しているが、今回の展覧会は「世紀の顔」というサブタイトルに見られるように、16世紀から20世紀にかけて西欧絵画を代表する作家による名作の数々によって、ルネサンスからキュビズムにいたる西欧絵画400年の歴史をたどる。ロシア以外で開催される美術展として「史上空前」とエルミタージュ側が太鼓判を押す、素晴らしい名品の数々を紹介した。

## 図録

29.5×23cm、273頁

監修：千足伸行

編集：日本テレビ放送網、国立新美術館、名古屋市美術館、京都市美術館

発行：日本テレビ放送網

## 関連事業

### 記念講演会 I

日時：2012年8月5日(日)14:00～

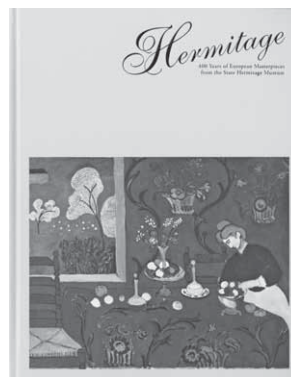
場所：2階講堂、無料

講師：千足伸行(成城大学名誉教授)

演題：「北国の美の宮殿：エルミタージュ美術館の名品を見る」



ポスター



図録



会場風景



市長見学

### 記念講演会 II

日時：2012年9月1日(土)14:00～

場所：2階講堂、無料

講師：中野京子(ドイツ文学者・早稲田大学講師)

演題：「エルミタージュ 女帝の時代」

### 作品解説会

日時：2012年8月19日(日)、9月16日(日)14:00～

場所：2階講堂、無料

講師：深谷克典(名古屋市美術館学芸課長)

# 青木野枝 ふりそそぐものたち

AOKI Noe: All that floats down

名古屋市美術館会期：2012年10月20日(土)～12月16日(日)

豊田市美術館会期：2012年10月13日(土)～12月24日(月・祝)

## 主催

名古屋市美術館、豊田市美術館、中日新聞社

## 後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

## 協賛

株式会社資生堂、企業メセナ協議会

## 協力

名古屋市交通局、ギャラリー・ハシモト、ホテルキヨシ名古屋

## 観覧料

名古屋市美術館・豊田市美術館 2館セット券

一般：1,800円 高大生：1,300円 小中生：無料

1館券

一般：1,100円 高大生：800円 小中生：無料

## 内容

今日の日本を代表する彫刻家である青木野枝(1958-)の12年ぶりの回顧展を、豊田市美術館との連携企画として二館を一つの展覧会場として開催した。

青木は、創作の初期から生命やその働きに関心を持ち、それらを主題とする作品を作りつづけてきた。青木は循環する水のすがたを借りて自身の世界観を表現してきたが、鉄板を溶断して切り出した円や輪などの基本となるかたちを溶接によってつなぎ合わせて作られる作品は、近年では水のみならずこの世界に存在するすべてのものを象徴するものとなり、私たちが存在するこの世界が、流れ落ち、ふりそそぐものとしてあることを表現するようになっていく。

本展では、新作6点を含む彫刻作品17点に、版画4タイトル36点と素描1点、コラージュ20点、およびスケッチブック170点を加えて、青木の初期から今日にいたるまでのあゆみを幅広く紹介し、更には今後の展開をも予測させて、その創作世界の魅力をあますことなく体験する機会を提供した。あわせて、それぞれの美術館についても広域に周知する機会となった。

当館の展示は、新作3点を含む彫刻8点、版画4タイトル36点、素描1点、コラージュ1点、スケッチブック170点である。開館以来はじめてとなる可動壁を一枚も使用しない展示室空間での展示は、吹き抜けを通して1階と2階の展示室をひとつの塊として感じさせるものであり、南階段を使用したコラージュ作品の展示、トップライトから差し込む自然光を中心とした照明も、いつにない新鮮な鑑賞体験を与えた。



ポスター



図録



会場入口ロビー



会場風景



会場風景

## 図録

28.0×21.0cm 136頁

編集:角田美奈子(名古屋市美術館学芸員)、北谷正雄(豊田市美術館学芸員)、成瀬美幸(豊田市美術館学芸員)

発行:青木野枝展実行委員会(名古屋市美術館、豊田市美術館、中日新聞社)

## 関連催事

名古屋市美術館

アーティストトーク

日時:10月20日(土)午後2:00~3:30

講師:青木野枝(出品作家)

会場:2階講堂、無料

ワークショップ

日時:11月17日(土)~18日(日)(2日間連続)

いずれも午前10:00~午後4:00

講師:青木野枝(出品作家)

会場:1階搬出入口

対象:中学生以上

解説会

日時:12月8日(土)午後2:00~3:30

講師:角田美奈子(名古屋市美術館学芸員)

会場:2階講堂、無料

あいちトリエンナーレ2013・トリエンナーレスクール

日時:11月9日(金)午後6:00~7:30

講師:青木野枝(本展及びあいちトリエンナーレ2013出品作家)

青木淳(建築家・あいちトリエンナーレ2013出品作家)

五十嵐太郎(建築史家・あいちトリエンナーレ2013芸術監督)

会場:2階講堂、無料

\*あいちトリエンナーレ実行委員会との共催による実施

豊田市美術館

対談

日時:12月2日(日)午後2:00~3:30

講師:中原浩大(現代美術作家)、青木野枝(出品作家)

会場:1階講堂、要当日観覧券

ワークショップ

日時:10月27日(土)~28日(日)(2日間連続)

いずれも午前10:00~午後4:00

講師:青木野枝(出品作家)

会場:屋外庭園および1階搬出入口

対象:小学生

学芸員によるギャラリートーク

日時:10月13日(土)、10月25日(木)、11月3日(土・祝)、11月15

日(木)、12月1日(土)、12月20日(木)

いずれも午後2時から

名古屋市美術館では、美術鑑賞の楽しさや面白さを体験できる美術館を目指して、今年度も来館者の皆さんからの多様な要望に応えられるように多彩な教育プログラムを実施しました。

一般向けには、特別展などでの講演会や解説会ですが、今年度は、「いのちの煌めき 田淵俊夫」展と「ふりそそぐものたち 青木野枝」展という二つの個展がありましたので、二人の作家の講演会と対談を行い、それぞれの芸術について多面的に紹介しました。また、9年振りに「ポジション2012 名古屋発現代美術」展を開催しましたので、この地方の若手作家たちの現在を伝えるギャラリートークを数多く開催しましたが、毎回50名前後の参加者があり、とても盛況でした。

「大エルミタージュ美術館」展では、展覧会監修者による講演会は満席でした。

また、特別展毎に担当する学芸員による解説会（全4回）も開催されました。

名古屋市美術館のコレクションについて、学芸員が最新の研究成果を踏まえて、その作家と作品の魅力を語る美術講座・コレクション解析学では、名品コレクション展や常設企画展にあわせて展示された多彩な美術家たち（荒川修作、ストランド、フンデルトワッサー、ホックニー）についての調査・研究の成果を紹介しました。

コンサートとしては、ポジション展の際に、名古屋フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる室内楽演奏会（ブラームス弦楽五重奏曲第1番など）と、芸術協会室内楽合奏団アントレによるバロック音楽による大エルミタージュ美術館展ミュージアム・コンサートが実施されました。

次に、子ども向けの教育普及事業としては、夏休みの恒例となった「夏休み こどもの美術館」では、「線を楽しむ・線で楽しむ」というタイトルで、展示とワークショップの活動を通して、美術作品のなかの「線」の表現の多様性について、興味・関心を持って、理解を深めてもらえるように行いました。

一方、「美術をたのしむプログラム」名古屋市美術館の「キッズの日」として実施している美術鑑賞プログラムにおいては、「子どものためのワークシート」を配布するとともに、白川公園を巡る「“おと”探検隊」（鈴木昭男の《点音 in 白川公園》）と「宝物（＝美術作品）を守る」ために工夫されている「“びじゅつかん”探検

隊」、「アート・ウォッチング」を総計4回実施しました。

学校との連携による教育普及事業としては、平成15年度から開始された「出前アート体験」では、「名画の秘密をさぐる」「作品に託されたメッセージ」「美術から異文化を知ろう！」「アートカードで学ぼう」などのプログラムを持って、学芸員やボランティアが出前授業（全8校）を行いました。また、学校の団体見学への対応においても、ボランティアによる常設展のガイドトークを受けた児童・生徒たち（名古屋市内の小中学校をはじめとして、高校、大学、一般など16団体、903名）は充実した美術鑑賞の体験をしています。

また、昨年度から引き続いて、名古屋市教育センター研修「名古屋市美術館における鑑賞教育講座」を開催しました。

このように名古屋市美術館が積極的な教育普及事業を展開できるのは、ボランティアの活動に支えられているからです。名品コレクション展でのギャラリートークを基本として、「キッズの日」の美術鑑賞プログラムの企画・実施、「出前アート体験」の「アートカードで学ぼう」の支援、常設展の学校団体向けガイドトークの実施、総合案内と図書室における来館者への案内活動、ボランティア養成講座のサポートを行う教育活動など、幅広い分野で活動を行ってきました。今年度は、総計105名のボランティアが活動しましたが、今年度は臨時休館に、ボランティアが主体となって学校での美術鑑賞授業を実施しました。

また、美術館の活動を支援することを目的とした美術愛好家の会である名古屋市美術館協力会では、春・秋の「美術館見学ツアー」を実施していますが、今年度から近郊の美術館への「美術鑑賞ミニツアー」（全9回）を積極的に実施するようになりました。「作家を囲む会」（田淵俊夫、ポジション展出品作家、青木野枝）を開催しました。また、特別展を開催した青木野枝にオリジナル・カレンダーの作成を委嘱して、多数の新規会員の獲得に成果を挙げました。

この他に、美術書や画集・展覧会カタログが充実した図書室の利用者も年間で16,691名になっています。出版関係では、多彩で豊富な記事が好評の美術館ニュース「アートペーパー」（第90～91号）とともに、『年報』『展覧会案内』を定期刊行しました。

# 1. 一般成人対象の事業

## (1) 講演会・解説会

月日	時刻	内 容	講 師 等	場 所	参加者
4月7日(土)	14時～	田淵俊夫展特別講演会「自作を語る」	田淵俊夫(日本画家)	講堂	230
4月15日(日)	14時～	田淵俊夫展講演会	神谷浩(名古屋市博物館副館長)	講堂	80
4月22日(日)	14時～	田淵俊夫展記念対談	田淵俊夫(日本画家)、神谷浩(名古屋市博物館副館長)	講堂	200
6月2日(土)	14時～	ポジション2012展出品作家によるギャラリートーク	青田真也、坂本夏子、佐藤貢	企展1・2	50
6月9日(土)	11時～	ポジション2012展出品作家によるギャラリートーク	川見俊	企展2	50
6月9日(土)	15時～	ポジション2012展出品作家によるギャラリートーク	文谷有佳里	常展3	50
6月16日(土)	14時～	ポジション2012展出品作家によるギャラリートーク	設楽陸、田島秀彦、判治佐江子	企展1・2	52
6月30日(土)	14時～	ポジション2012展トーク「ポジション展ができるまで」	原沢暁子(当館学芸員)、笠木日南子(当館学芸員)、佐久間要(展覧会デザイナー)	講堂	60
7月14日(土)	11時～	ポジション2012展出品作家によるギャラリートーク	大崎のぶゆき、山田純嗣	企展1	60
8月5日(日)	14時～	大エルミターージュ美術館展記念講演会 I「北国の美の宮殿：エルミターージュ美術館の名品を見る」	千足伸行(展覧会監修者・成城大学名誉教授)	講堂	230
8月19日(日)	14時～	大エルミターージュ美術館展 展覧会解説	深谷克典(当館学芸課長)	講堂	195
9月1日(土)	14時～	大エルミターージュ美術館展記念講演会 II「エルミターージュ女帝の時代」	中野京子(ドイツ文学者・早稲田大学講師)	講堂	250
9月16日(日)	14時～	大エルミターージュ美術館展 展覧会解説	深谷克典(当館学芸課長)	講堂	180
10月20日(土)	14時～	青木野枝   ふりそそぐものたち アーティストトーク	青木野枝(彫刻家)	講堂	150
11月9日(金)	18時～	あいちトリエンナーレ2013・トリエンナーレスクール「原っぱと鉄の浮遊する粒子」(「青木野枝   ふりそそぐものたち」展との共催)	青木野枝(彫刻家・あいちトリエンナーレ2013出品作家)、青木淳(建築家・あいちトリエンナーレ2013出品作家)、五十嵐太郎(建築史家、あいちトリエンナーレ2013芸術監督)	講堂	250
12月8日(土)	14時～	青木野枝   ふりそそぐものたち 解説会	角田美奈子(当館学芸員)	講堂	56

\*展覧会チケットまたは半券の提示が必要。

計 2143



田淵俊夫展講演会



田淵俊夫展対談



ポジション展トーク

## (2)美術講座 コレクション解析学

月日	時刻	内 容	講 師 等	場 所	参加者
5月13日(日)	14時～	「荒川修作の“MISTAKE”」荒川修作《35フィート×7フィート6インチ、126ポンド》	山田諭(当館学芸係長)	講堂	83
7月8日(日)	14時～	「ディアスポラ～亡命者たち」ストランド《メキシカン・ポートフォリオ》	竹葉丈(当館学芸員)	講堂	53
9月9日(日)	14時～	「渦巻きは何を語る?」フンデルトワッサー《(837) 郷愁の紫色の屋根》	原沢暁子(当館学芸員)	講堂	98
11月11日(日)	14時～	「不親切な挿絵?!」ホックニー《6つのグリム童話のための挿絵》	清家三智(当館学芸員)	講堂	67

計 301

第1回: 5月13日(日)午後2時～

作品: 荒川修作《35フィート×7フィート6インチ、126ポンド No.2》

演題: 「荒川修作の“MISTAKE”」

講師: 山田諭(学芸員)

内容: 名古屋出身の世界的な現代美術家・荒川修作は、1960年代から文字や記号、幾何学的な図式による絵画によって、人間の知覚や思考に働きかける作品を探究しはじめて、1980年代からは、人間の身体感覚を揺さぶる建築的な作品に取り組んで、世界各地で活発な活動を展開してきたが、残念なことに、一昨年2010年5月19日に73歳で急逝した。

今回の常設企画展では、没後2年を記念して、新たに寄託された作品(5点)を中心に、荒川修作芸術の出発点となる図式絵画が確立した時代(1960年代頃)の作品を紹介したが、とくに“MISTAKE”という文字が描かれている作品《35フィート×7フィート6インチ、126ポンド No.2》を中心として、荒川修作にとって“MISTAKE”、すなわち「間違える」ということは、どのような意味を持っているのかについて考察した。

第2回: 7月8日(日)午後2時～

作品: ポール・ストランド《メキシカン・ポートフォリオ》

演題: 「ディアスポラ～亡命者たち」

講師: 竹葉丈(学芸員)

内容: 1932年11月、アメリカの写真家ポール・ストランド(1890-1976)は、写真芸術の新たな表現を推進しながらも、芸術と思想のアヴァンギャルド(前衛)を模索し、ニューヨークを離れ、アメリカ大陸を西部へ、さらに新たな“ユートピア”を夢想してメキシコを目指した。1933年5月、パツァロやウルアパンの市井に取材した写真家は、メキシコの現実をはじめて目の当たりにする。ストランドが撮影したメキシコの写真は、単なる“エキゾティシズム”を超え、メキシコに対する優れた“ソーシャル・ドキュメンツ(社会的記録)”にまで到達するものであった。メキシコ政府からの助成を受けながら取材されたそれらの写真は、皮肉にも右傾化していく社会に対する告発を記録している。レクチャーでは、美術館が所蔵する《メキシカン・ポートフォリオ》20点と、作品集に選択されなかったそれ以外のイメージにより、ストランドのメキシコでの撮影を辿り、その技法や特質について紹介した。併せて、近年編集・復刻されたストランド撮影による映画《Redes(波)》を上映し、1930年代

に“すれ違った”アメリカ人写真家とメキシコの現実についても検証した。

第3回: 9月9日(日)午後2時～

作品: フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー《(837) 郷愁の紫色の屋根》

演題: 「渦巻きは何を語る?」

講師: 原沢暁子(学芸員)

内容: オーストリアの画家であるフンデルトワッサーは、幻惑するような色彩と渦巻きなどの曲線を用いて作品を描いた。当館所蔵の《(837) 郷愁の紫色の屋根》は、フンデルトワッサーの作品の特色をよく備えたもののひとつである。解析学では、フンデルトワッサーの作品の特色を、「直線と曲線について」、「建築について」、「植物について」、「血について」、「渦巻きについて」という項目で解説し、それらの特色がエッセンスのように《(837) 郷愁の紫色の屋根》の中に現われていることを話した。フンデルトワッサーの全体像を理解してもらうとともに、この作品の特徴を掴んでいただくようにと考えて解説を行い、最終的に、フンデルトワッサーが提唱した人間性の回復という点についても話をして、フンデルトワッサーの思想について考えた。

第4回: 11月11日(日)午後2時～

作品: デイヴィッド・ホックニー《6つのグリム童話のための挿絵》1969年

演題: 「不親切な挿絵?!」

講師: 清家三智(学芸員)

内容: デイヴィッド・ホックニー(1937-)は、世界で最も人気のあるアーティストの1人である。《6つのグリム童話のための挿絵》は彼がアーティスト活動を始めて間もない頃に手がけた作品だが、ただ物語のあらすじを分かりやすく示すための絵を描いたのではない。ホックニー自身がグリム童話に対してどれほど高い関心を寄せていたか、一つひとつの物語をいかに詳しく分析し、独自の解釈を加えて図柄の構想を練っていたかについて、19世紀の挿絵画家による作品との比較や後年のホックニー作品との関連性にも触れながら紹介した。



### (3)コンサート

#### 名フィル「まちかどコンサート」

日 時 7月1日(日)午後3時～  
演 奏 アンサンブル ローテ・イーゲル  
曲 目 パツフェルベル／カノン、ブラームス／弦楽五重奏  
曲 第1番  
参加者数 86名

#### 大エルミタージュ美術館展ミュージアムコンサート

日 時 8月26日(日)、9月8日(土)午後3時～  
演 奏 芸術協会室内楽合奏団アントレ  
曲 目 モンテベルディ「4声のためのミサ曲」、パッヘル  
ベル「カノン」、ビバルディ「四季より 夏 第3楽  
章」、バッハ「主よ人の望みの喜びよ」ほか  
参加者数 530人



コンサート

### (4)その他

#### ①ポジション2012

##### コンサート&制作パフォーマンス

日 時 6月2日(土)午前11時～  
6月9日(土)午後2時～  
7月7日(土)、14日(土)午後2時～  
7月16日(月・祝)午後3時～  
会 場 地下1階ロビー、無料  
参加人数 6月2日30名、6月9日40名、7月7日40名、  
7月14日100名、7月16日130名

企画・演出 文谷有佳里(出品作家)、高山葉子(作曲家)  
出演 宇多村仁美、木村真弥、福田さくら、安田奈央  
内容 文谷有佳里の描く線をイメージして高山葉子が  
5つの曲「ブラック・ラインズ」(それぞれ15分程  
度)を作曲した。毎回、それぞれの曲のイメージに  
合わせた演出と演奏とともにパフォーマンスが行  
われた。文谷自身は一パフォーマーとして演技す  
る中で窓ガラスや柱に制作を行い、最後の回で  
は、線を消していくパフォーマンスを行った。毎回  
違うパフォーマンスは、文谷の作品の中の線が持  
つ様々な表情を表し、文谷の作品の持つ様々な  
魅力を気づかせるものとなった。毎回使われる楽  
器も日常身近にある物から非常に珍しい貴重な

楽器まで様々で、中には出演者による手作りのも  
のもあり、曲と作品に合わせた演出は好評だっ  
た。

#### 公開制作・ワークショップ

「溶ける絵画 water drawing 水面に広がる不確かな世界」  
大崎のぶゆき(出品作家)と一緒に作品を制作した。

日 時 6月3日(日)午後0時30分受付開始  
講 師 大崎のぶゆき  
会 場 2階講堂、無料  
対 象 10歳以上  
参加人数 15名  
制 作 午後1時～4時  
内 容 特殊なフィルムに絵を描き、そのフィルムを水に浮  
かべると水を吸って広がり、そこに描かれた絵は  
広がり、溶けていく。その様子を撮影し、大崎の作  
品制作を体験できるワークショップを開催した。子  
どもから大人まで、夢中になって楽しんでいった。

#### 滞在制作

日 時 6月2日(土)、9日(土)、10日(日)、7月7日  
(土)、8日(日)、14日(土)  
会 場 地下1階ロビー、無料  
内 容 出品作家の文谷有佳里が美術館の大きな窓ガ  
ラスや柱部分に線を描き、最終的には地下1F  
ロビーの空間そのものが文谷の作品となった。

#### 《地方のグラス》プレゼント&サイン会

日 時 6月9日(土)午前11時～  
7月16日(月・祝)午後2時～(各2時間程度)  
会 場 ポジション展会場内、川見俊作品展示場所、要  
入場券  
参加人数 各200名  
内 容 出品作家の川見俊が出品作品《地方のグラス》  
にサインをして入場者にプレゼントをした。

#### カフェ

日 時 6月2日(土)、3日(日)両日も午後1時～  
会 場 サンクンガーデン、無料  
参加人数 各100名  
内 容 出品作家の青田真也とカフェユニットL PACK  
(小田桐奨・中嶋哲矢)がコラボレーションし、カ  
フェを開催した。来場者は、青田の作品にちなん  
でさいころを作ったり、さいころをふり、出た数のお  
茶菓子を食べながらおいしいコーヒーを楽しん  
だ。

#### ②荒川修作の“MISTAKE”

田中泯の「場踊り」- 荒川修作へのオマージュ

日 時 5月20日(日)午後3時～

**出演** 田中泯(ダンサー)  
**会場** 名古屋市美術館・常設展示室3～地階ロビー  
 周辺(入場無料)  
**内容** 関連事業として、荒川修作の初期作品が展示された名古屋市美術館という「場」において、荒川修作へのオマージュとして、世界的に活動するダンサー・田中泯が「場踊り」を行った。



ポジション2012 文谷有佳里パフォーマンス

③「青木野枝 | ふりそそぐものたち」展ワークショップ

●名古屋市美術館

**日時** 11月17日(土)～18日(日)(2日間連続)  
 いずれも午前10:00～午後4:00  
**講師** 青木野枝(出品作家)  
**会場** 1階搬出入口  
**対象** 中学生以上  
**参加人数** 11名  
**内容** 青木野枝の創作技法である鉄板の溶断と溶接を体験しながら小さな作品を制作した。



ポジション2012 大崎のぶゆきワークショップ

●豊田市美術館

**日時** 10月27日(土)～28日(日)(2日間連続)  
 いずれも午前10:00～午後4:00  
**講師** 青木野枝(出品作家)  
**会場** 屋外庭園および1階搬出入口  
**対象** 小学生  
**参加人数** 11名  
**内容** 青木野枝の創作技法である鉄板の溶断と溶接を体験しながら小さな作品を制作した。



荒川修作展田中泯パフォーマンス



青木野枝展ワークショップ

## 2. 子ども対象の事業

### (1) 学校休業日の体験活動の推進

平成15年度から、長期休業期間を除く学校休業日(土日祝)を対象に、美術や美術館に親しむプログラムを継続して実施している。これは名古屋市教育委員会が平成22年度まで推進してきた「なごやっ子教育推進計画」の後継として策定した「名古屋市教育振興基本計画」の一環で行うものである。平成24年度は年間4回のプログラムを開催した。

#### ① こどものためのワークシート

**日時** 開館中の土曜・日曜・祝日および学校長期休暇期間(120日間)

**対象** 小中学生

**延べ実績** 1,553枚

**参加方法** 当日常設展入口で随時受付

**内容** 名品コレクション展Ⅰ～Ⅲの各展示内容にあわせて展示作品をじっくり鑑賞するためのヒントやクイズを載せた「こどものためのワークシート」を配布し、取り組んでもらうことで作家や作品への理解を深めた。

#### ② “おと”探検隊

**日時** 1回目…5月19日(土)  
2回目…10月27日(土)  
いずれも午前10時～正午

**対象** 小中学生とその保護者

**参加者数** 1回目…18名 / 2回目…13名

**スタッフ** (学芸員)清家三智  
1回目…ボランティア10名  
2回目…ボランティア8名

**内容** 目には見えない“音”を意識するための練習を参加者全員と一緒に行った後で、2009年に設置された鈴木明男の作品《点音 in 白川公園》を体験しながら、身近な存在である“音”について考え

を深めることをねらいとしたプログラム。意識して耳をすますことで、音の動きや響き方、距離感などを聞きとるだけでなく、「見ること」と「聞くこと」のちがいに気づいたり、空間の広さ／狭さやその日の気候、身の回りの環境などについて五感を使って丁寧に感じ取る機会となり、参加者に白川公園という場の面白さや魅力に気づいてもらうことができた。

#### ③ “びじゅつかん”探検隊

**日時** 6月30日(土)午前10時～正午

**対象** 小学生

**参加者数** 25名

**スタッフ** (学芸員)清家三智、ボランティア12名

**内容** 美術館は何のための場所か、館内を探検しながら自分たちで見て、聞いて、考えを掘り深めていくプログラム。前半は単なるバックヤードツアーではなく、館内の設備をくわしく観察することから「どうして美術館には開かない窓しかないのか」、「火事になったらどうするのか」、「なぜ取蔵庫の鍵はこんなにたくさんあるのか」などの疑問を参加者に抱かせ、館内で働いている人々の役割を考えながら学芸員と話し合う活動を通して、「宝物(=美術作品)を守る」という美術館の社会的役割への理解を深めた。

#### ④ アート・ウォッチング

**日時** 12月1日(土)午前10時～正午

**対象** 小学生

**参加者数** 24名

**スタッフ** (学芸員)清家三智、ボランティア13名

**内容** 前半は、代表的な所蔵作品をハガキ大の複製図版に仕立てた「名古屋市美術館アートカード」を用いて活動した。学芸員から出題される3つのヒントをもとに当てはまる作品を探し当てたり、テーマに沿って60枚あるカードをいくつかのグループに分類したりする体験を通して、作品の細部や全体をよく観察した。後半は参加者を5～6名のグループに分け、常設展示室内の作品鑑賞を行った。作品の本物をよく見て、参加者はカードで見て想像していた大きさや質感、印象などの違いについて話し合った。

ボランティアは前半のカードを使った鑑賞活動をサポートするとともに、後半は各グループの進行役となり、参加者の意見交換が活発になるよう支援した。



## (2)夏休み こどもの美術館

平成24年度は「線を楽しむ・線で楽しむ」と題し、展示とワークショップそれぞれの活動を通じて、美術作品の中の“線”に着目し、その表現の多様性に気づかせることをねらいとした。

展示では、鉛筆、ペン、水彩絵具、油絵具など画材によって描かれた作品から線の表情のちがいや、線の太さや長さ、濃淡、にじみ、かすれ、直線／曲線などの特長を見比べたり、点のつながりが線となり、線の集積が面になって事物を立体的に見せるという基本的な描写の仕組みを、写実的なデッサン作品などから読み取ることでより具体的に理解できるようにした。また線そのものの成り立ちにも多様性があることに気づけるよう、写真作品や抽象絵画なども参照した。

**タイトル** 線を楽しむ・線で楽しむ  
**期 間** 7月28日(土)～9月30日(日)  
**会 場** 常設展示室 3



### A. 「線を楽しむ～絵本もいっしょに～」

**日 時** 8月2日(木)、3日(金)  
 いずれも1日2回  
 午前10時～／午後11時～ \*40分ぐらい

**対 象** 小学生(保護者同伴も可)

**参加費** 無料

**定 員** 各回15名

**参加者数** 76名(2日間のべ)

**内 容** 名古屋市立鶴舞中央図書館の協力を経て、展示室で“線”にまつわる絵本の読み聞かせを行った後、参加者全員で展示「線を楽しむ・線で楽しむ」を鑑賞した。“線”への興味・関心を高めてから作品を鑑賞することで、参加者が自分の目でも観察しながら一つひとつの線の特徴に気づいたり、線から生まれるストーリーなどへの想像を膨らませたりする後押しをした。取り上げた絵本はいずれも学芸員と図書館司書とが相談しあって選

んだもので、『ひとふでがき どうぶつずかん』、『あかあお ふたりで』、『せんをひく』、『天使のえんぴつ』、『もりのえほん』の5冊。



### B. 「線で楽しむ」

**日 時** 8月7日(火)、8日(水)、9日(木)、10日(金)  
 いずれも1日2回  
 午前10時～正午／午後1時30分～3時30分

**対 象** 小学生

**参加費** 無料

**定 員** 各回20名

**参加者数** 133名(4日間のべ)

**内 容** 身近すぎて意識することのない“線”を見つけたり、その特徴を分析した後で、さまざまな“線”を意識しながら描くことに挑戦した。

◎7日(火)・10日(金)

グループに分かれて展示「線を楽しむ・線で楽しむ」を鑑賞した後、使う画材によって描ける線の特徴や表情がちがうことを学芸員がデモンストレーションした。その後、複数の画材それぞれの特徴を生かしたドローイング作品を制作した。

◎8日(水)・9日(木)

参加者全員で美術館の建物の内外にある線をさがしながら見て回った後、地階のサンクンガーデンから広がる複数の曲線(フラクタル曲線)の特徴をよく観察した。その後、似ているようで一つひとつ波の形が異なるよう意識しながら、できるだけ多くの種類の曲線を描くことに取り組んだ。





### (3)芸術と科学の杜 アート大会

「芸術と科学の杜」とは、名古屋市美術館・科学館が連携して市民の豊かな感性と創造力を育む魅力ある事業を継続実施するとともに、白川公園周辺の文化施設や地域とも協力して連携の輪を広げることで「芸術と科学を中心にさまざまな文化が融合し、新しい文化を生み出すまち」の形成をめざすものである。この事業目的実現のため、地元商店街や周辺の施設、関係機関からなる「芸術と科学の杜連携推進会議」を平成24年5月に設立し、地域連携事業を企画実施している。その事業の一つとして、アート大会を実施した。

#### アート大会

- 日時 11月3日(祝・土)午前10時～午後3時  
 場所 白川公園  
 参加者数 5,000人  
 内容 ●巨大地上絵 in 白川公園  
 「おさげ髪の少女」をみんなで完成させよう！  
 ●不思議なフィルターで宝探し  
 ●スタンプラリーで彫刻を探そう！  
 ●美術館と科学館をつなごう！



### (4)その他

#### 大エルミタージュ美術館展セルフガイド

「大エルミタージュ美術館展」の会期の前半が、小中学校の夏休みと重なるため、クイズを解きつつ楽しみながら美術鑑賞の参考になるような知識を身につけるセルフガイドを作成した。小中学生を対象に制作したもののだが、付き添いの大人からも好評をいただいた。

制作部数 10,000部

配布対象 「大エルミタージュ美術館展」に来場した小中学生全員(内容は小学校高学年から中学生向け)



大エルミタージュ展子ども用セルフガイド

### 3. 学校対象事業

#### (1) ボランティアによる学校団体向けガイドトークの実績

平成24年度団体受入

\*は学芸員による対応

No.	日時	曜日	団体名	見学者数	引率者数	対応ボランティア
1	6月14日	木	瑞穂生涯学習センター	35	1	5
2	6月14日	木	刈谷市高津波公民館女性部	35	1	4
* 3	6月20日	水	名古屋市立中央高校（昼間定時制）1～3年生	8	1	0
4	6月27日	水	岐阜各務野高校情報科1～2年生	79	6	10
5	6月29日	金	東京福祉大学	22	1	3
6	8月21日	火	ひらばやし造形教室	21	1	3
7	10月23日	火	太子小学校6年生	76	3	9
8	10月30日	火	笠東小学校4年生	81	3	10
9	11月16日	金	菊住小学校5年生	55	2	7
10	11月20日	火	長久手北小学校3年生	109	5	14
11	11月21日	水	刈谷市立双葉小学校5年生	113	5	7
12	11月27日	火	諏訪小学校3年生	38	2	5
13	1月28日	水	那古野小学校4年生	19	1	6
14	12月4日	火	常滑市立三和小学校3～4年生	63	2	8
15	12月7日	金	大手小学校5年生	106	4	7
16	12月19日	水	植田中学校1年生	43	1	7
計				903	39	105

## (2)アートカード貸出実績

アートカードは、名古屋市美術館の所蔵作品の中から60点を選び、はがき大の複製図版に仕立てた鑑賞学習用補助教材である。名古屋市立の小中学校に対しては各区に設けた保管校を通して、それ以外の学校・団体には美術館から直接貸出を行い、鑑賞学習の普及に努めている。

平成24年度 アートカード保管校一覧

区	学校名	担当の先生	ケース数	保管ケース番号
千種区 東区	東山小	塚本 雅子	3	1、2、3
				4、5、6
北区	飯田小	山崎 美佳	4	7、8、9、10
西区	榎小	水野 由貴	4	11、12
	平田中	大西 玲美		13、61
中村区	笹島中	川松 仁子	3	14、15、16
中区	新栄小	前田 哉子	3	17、18、19
昭和区	円上中	福尾 圭介	3	20、21、22
瑞穂区	萩山中	水谷 恵美	3	23、24、25
熱田区	白鳥小	中村 仁美	3	26、27、28
中川区	はとり中	松下 泰久	4	29、30、
	愛知小	廉澤 洋子		31、33
港区	港明中	木村 雄介	3	34、35、36
南区	南光中	市川 裕二	4	38、39、40、41
守山区	森孝西小	渡瀬 誉啓	4	42、43、44、45
緑区	太子小	中野 幸代	5	46、47、48、49、50
名東区	上社中	小林 弘倫	4	51、52、53、54
天白区	表山小	宮地 千加	4	55、56、57、58

平成24年度 美術館からの直接貸出実績

No.	学校・団体名	期間	ケース数
1	栄小・松栄小 トワイライトスクール	5月12日－ 6月1日	1
2	名古屋市立中央高等学校	5月12日－ 6月9日	1
3	犬山市立東小学校	8月25日－ 9月23日	1
4	(宮城県) 仙台市立富沢小学校	9月6日－ 10月2日	1
5	平塚市美術館	10月1日－ 10月30日	1
6	長久手市立北小学校	10月13日－ 11月20日	1
7	飛鳥学園飛鳥中学校	11月1日－ 12月13日	1
8	こジャレプロジェクト	11月3日－ 11月10日	1
9	常滑市立三和小学校	11月24日－ 12月4日	2

貸出件数：9件、貸出数：10ケース

平成24年度 アートカード保管校別貸出実績一覧

区	貸出先	ケース数	貸出期間
千種	若水中学校	1	1月－3月
北	名北小学校	2	5月16日－11月28日
	辻小学校	1	9月12日－9月25日
	飯田小学校	1	12月7日
西	平田中学校	1	1月21日－25日
	山田東中学校	2	10月－11月
中村	笹島小学校 (アイデアいっぱい～研修)	1	7月－8月
熱田	大宝小学校	1	4月～3月
	白鳥小学校	1	随時
中川	愛知小学校	2	1月15日－1月31日
	万場小学校	1	6月15日－7月15日
	千音寺小学校	1	9月28日－3月25日
	西前田小学校	1	11月7日－貸出中
港	南陽小学校	2	5月23日－7月21日
	成章小学校	1	6月17日－7月21日
	神宮寺小学校	1	1月10日－2月1日

区	貸出先	ケース数	貸出期間
南	(緑区) 神の倉中学校	2	6月14日－8月23日
	柴田小学校	1	7月5日－7月17日
	南光中学校	1	9月3日－9月20日
	柴田小学校	1	9月13日－10月7日
守山	二城小学校	1	10月－11月
緑	小坂小学校	5	4月12日－4月20日
	熊の前小学校	2	9月18日－10月9日
	南陵小学校	3	11月7日－11月20日
	熊の前小学校	2	12月6日－12月21日
太子	太子小学校	2	3月13日
	アイデアいっぱい～研修	2	7月－8月
天白	平針中学校	2	5月23日－6月22日
	御幸山中学校	2	12月17日－3月4日
	植田北小学校	1	1月30日－3月1日

貸出件数：30件、貸出数：47ケース

### (3)出前アート体験

#### ①北区・名北小学校

プログラム名 作品に託されたメッセージ  
日 時 6月4日(月)9:40~10:25  
場 所 多目的教室  
対象学年 6年生2クラス72名  
講 師 (学芸員)山田諭  
授業内容 岡本太郎の《明日の神話》の写真図版を観察して、何が描かれているのかを、子どもたちに発言してもらって、画面全体をじっくりと見た後に、描かれているものについて考えるなかで、日本が体験した被爆体験(第五福龍丸事件)について説明して、3.11の東日本大震災を踏まえて生きていくことについて考えてもらった。

#### ②中川区・野田小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう  
日 時 9月7日(金)9:50~10:35/10:50~11:35  
場 所 プレイルーム  
対象学年 3年生2クラス69名  
講 師 (学芸員)保崎裕徳  
スタッフ (ボランティア)6名  
授業内容 児童を6グループ(5~6名)に分け、それぞれのグループにスタッフ1名がつき、以下の活動を行った。

##### ①先生に作品をプレゼントしよう

具象作品のアートカード40枚を机の上に広げて、グループ全員で眺める。「先生にプレゼントするならどれがいいか?」と問いかけがあり、児童は各自ふさわしい作品を提案して理由を話す。話し合いながら作品を一つに絞り、その絵についての意見・感想を出し合う。

##### ②自分がほしい作品はどれ?

アートカード40枚の中から、今度は児童それぞれが気に入ったカードを選ぶ。メモ用紙が配られ、選んだ作品がほしい理由と、作品の良さを書く。

#### ③天白区・表山小学校

プログラム名 美術から異文化を知ろう!  
日 時 9月19日(水)10:45~11:35  
場 所 特別活動室  
対象学年 5年生3クラス100名  
講 師 (学芸員)原沢暁子  
授業内容 フリーダ・カーロ《死の仮面を被った少女》を採り上げ、この絵を通じてメキシコの文化についても考える授業を行った。

まず、世界地図をプロジェクトで投影し、メキシコの位置を確認した後、メキシコについて知っていることやメキシコの特徴について話した。その

後、《死の仮面を被った少女》を投影し、何が描かれているかを言ってもらった。そして、用紙にこの女の子がどんな気持ちかも記した。

絵についての印象を確認したところで、フリーダ・カーロの生涯に触れ、《死の仮面を被った少女》が彼女の産めなかつた子どもを題材にしたものであることを話し、絵の中のモチーフについても説明した。さらに、メキシコの死者の日についても話し、メキシコの文化的背景を理解するようにした。

絵とメキシコについての知識を得たところで、再び《死の仮面を被った少女》についての感想を書いてもらい、何人かが発表した。

最後に、メキシコの絵を見ることによってメキシコという国が子どもたちにとって近い国となることを話し、授業を終了した。

#### ④天白区・原小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる  
日 時 9月25日(火)9:45~11:35  
場 所 特別活動室  
対象学年 4年生4クラス130名  
講 師 (学芸員)深谷克典  
授業内容 名画の面白さ、楽しさ、見方などについて、ピカソとダ・ヴィンチの作品を中心に紹介した。ピカソについては、時代による作風の大きな変化について、スライドを使って説明しながら、優れた作品か否かは必ずしも技術の巧拙を基準にするのではなく、むしろ着想の自由さや斬新さが高く評価されることを説いた。また世界一有名な絵画、《モナリザ》の画面の中にひそむ、様々な不思議な点を紹介した。

最後に名古屋市美術館の代表作《おさげ髪の少女》と《モナリザ》を比較して、作風と個性の違い、時代による様式の変化について説明し、さらに本物と偽物の区別について触れて、両者を見分ける方法についても言及した。

#### ⑤北区・楠西小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう  
日 時 10月3日(水)9:40~10:25/10:45~11:30  
場 所 各クラス教室  
対象学年 3年生2クラス67名  
講 師 (学芸員)清家三智  
スタッフ (ボランティア)6名  
授業内容 児童を6グループ(5~6名)に分け、それぞれのグループにスタッフ1名がつき、以下の活動を行った。

##### ①たんでいゲーム

ある作品の一部を拡大した図版を黒板に掲示



し、児童はよく観察しながらどのカード(作品)の一部なのかを当てる。

②分類ゲーム

グループで協力してカードをよく観察し、話し合いながら、学芸員から出されるテーマに沿って60枚のアートカードを3～4つのジャンルに分類していく。

③プレゼントを考えよう

60枚のカードの中から、もし自分の家族にプレゼントするとしたら、誰に、どの作品を贈るか考えて1枚を選ぶ。グループ内で、それぞれの考えた理由を発表しあう。

⑥名東区・藤が丘小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう

日時 10月26日(金)9:40～10:25/10:45～11:30/11:40～12:25

場所 各クラス教室

対象学年 3年生3クラス100名

講師 (学芸員)清家三智

スタッフ (ボランティア)6名

授業内容 児童を6グループ(5～6名)に分け、それぞれのグループにスタッフ1名がつき、以下の活動を行った。

①たんでいゲーム

学芸員が、ある作品の特徴を伝えるヒントを挙げる(最大3つまで)。児童はそれをよく聞いて、どのカード(作品)が正解なのか、よく観察しながら答えをさぐる。

②分類ゲーム

グループで協力してカードをよく観察し、話し合いながら、学芸員から出されるテーマに沿って60枚のアートカードを3～4つのジャンルに分類していく。1つめのテーマ「作品に出てくるもの」では、人、動物、風景、それ以外の4つに、2つめのテーマ「作品の中の季節」では、春、夏、秋、冬、判別不可の5つに分類した。授業の最後に、他のグループの結果と自分のグループの結果とを見比べる時間を設け、同じものを見ている感じ方、捉え方は異なることに気づかせた。

⑦昭和区・滝川小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう

日時 11月22日(木)10:40～11:25/11:35～12:20

場所 図工室

対象学年 2年生4クラス127名

講師 (学芸員)保崎裕徳

スタッフ (ボランティア)13名

授業内容 児童を10グループ(5～6人)に分け、それぞれ

のグループにスタッフ1～2名がつき、以下の活動を行った。

①さがしてあてよう(アートかるた)

机にアートカード(表)を広げ、学芸員が読み札を読みあげ、児童はどのカードか探して当てる。

②みつけてみよう

机にアートカード(表)を広げる。「動物のいるカードをみつけよう」と問いかけがあり、一人ずつ順番に、動物のいるカードを一枚みつけて発表する。だんだん難しくなるので、しばらく考えて分からなかったら回りの人がヒントを出しても良い。見つからなくなるまで行う。

③すきなカードでお話をつくろう

②で見つかったカードの中から、児童それぞれが気に入ったカードを一枚選ぶ。各人に配られたメモ用紙に、「どんなところが好きか」「どんなお話のカードか」を書く。

⑧港区・中川小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう

日時 2月26日(火)10:45～11:30

場所 図工室

対象学年 3年生1クラス36名

講師 (学芸員)角田美奈子

スタッフ (ボランティア)6名

授業内容 名古屋市美術館を例にして美術作品と美術館について紹介したあと、6つのグループに分かれて、「図画工作」の指導要領に記された目標(主に、[共通事項]、ア自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。イ形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。)に配慮した課題「先生へのおくりもの」を行った。これは、私たち美術館のスタッフに、おくりものとして選んだ作品を通して担任教諭の人物を紹介させるもので、スタッフは担任教諭とともに活動の支援を行い、児童はアートカード60枚のなかから用意された課題にふさわしい内容を持つカードを各自選び、グループのなかで意見交換を行って1つの作品に絞り込む。その後クラス全体でグループごとに選んだ作品とその理由について発表を行った。課題への取り組みを通して、児童ひとりひとりの想像力を刺激するとともに、グループ活動のなかで互いの発想を共有し、異なる感覚や意見への理解と共感を育む機会としたが、自分のなかにあるあるイメージを既成のものを用いて表現することを体験する授業でもある。

#### (4)就業・職業・職場体験及び職場訪問受け入れ

1. 対象 中学校・高等学校 生徒
2. 内容 【体験】総務課、学芸課の業務内容を知るとともに、清掃、警備、案内監視、施設管理等の業務内容を知り体験する。  
【訪問】館内施設の見学をするとともに、疑問点についてインタビューを行い美術館に関する理解を深める。

#### 3. 実績

実施日	内容	学校名	学年	人数	備考
24.6.4～8	体験	名古屋市立守山養護学校	2年	1人	高等部
24.6.6	体験	名古屋市立天白中学校	2年	4人	
24.6.8	体験	名古屋市立天白中学校	2年	4人	
24.7.31～8.1	体験	名古屋市立名古屋商業高等学校	2年	5人	
24.8.7～8	体験	大府市立大府西中学校	2年	1人	
24.8.14.15.21	体験	名古屋市立西陵高等学校	2年	1人	
24.11.5～16	体験	名古屋市立守山養護学校	2年	1人	高等部
25.1.17～18	体験	名古屋市立川名中学校	2年	2人	
25.1.23.25	体験	名古屋市立守山北中学校	2年	1人	
25.1.29～30	体験	名古屋市立伊勢山中学校	2年	4人	
25.2.5～6	体験	名古屋市立円上中学校	2年	2人	
24.5.24	訪問	岐阜市立中央中学校	2年	5人	
24.6.15	訪問	豊橋市立東部中学校	2年	6人	
24.11.2	訪問	武豊町立富貴中学校	2年	3人	
24.11.2	訪問	名城大学附属高等学校	1年	5人	
24.11.20	訪問	いなべ市立北勢中学校	2年	4人	

#### (5)教員対象の講座

##### ①名古屋市教育センター研修「名古屋市美術館における鑑賞教育講座」

名古屋市教育センターからの依頼により、名古屋市立の小・中・高・養護学校を対象とする研修講座を開催した。美術館の基本的な活動と、児童・生徒を対象にした美術鑑賞の実践例を紹介した。当館が提供している常設展のギャラリートークやアートカードを用いた鑑賞学習の一例を実際に体験してもらい、美術館の活用法を具体的に知ってもらう機会とした。

前年度までは、館独自で実施する「教師のための研修会」と教職経験者研修会(Ⅱ)[10年研]、高等学校教職経験者研修会(Ⅱ)[高校10年研]は区別して行っていたが、本年度からこの1回に集約して実施することになった。

日 時 8月1日(水)13:00～17:00

場 所 名古屋市美術館 講堂および常設展示室

参加者数 71名

講 師 (学芸係長)山田諭、(学芸員)原沢暁子、清家三智

スタッフ ボランティア10名

今年度は、昨年度10月～3月にかけて実施した養成講座を修了した30名が新たに加わり、105名の登録者となった。

多くのメンバーで安定した活動運営はできるが、一方で一人当たりの活動機会の確保が課題となる。今後は新たな活動内容も視野に入れながら活動の幅を広げていくことが望まれる。

常設展でのギャラリートークや学校休業日の教育プログラムにおける美術鑑賞体験支援、通常の出前授業の他に、1月～3月の長期休館中には、ボランティアと職員が学校に赴き、アートカードを使った鑑賞学習授業を試行的に行った。この事業はボランティアが主体となってプログラムを作成・実施したもので、今までにはない新しい試みとなった。

また、名古屋まつり開催の日曜日には、常設展が無料開放されるのにあわせて、ボランティアまつりを開催した。ボランティア有志による計画のもと、1点トークや彫刻ガイド、建物ガイド、ロビー案内、美術館周辺の美化運動などを実施し、来館いただいた約1,000人のお客様に美術鑑賞を楽しんでいただくとともに、ボランティア活動についても周知する機会とすることができた。

### (1)ボランティア登録者(2012年4月～2013年3月)

第1期:大竹希至子、山田泰子 計2名

第2期:木村千代子、黒柳美紀子、桜井泉、藤栄朋子 ほか、計5名

第3期:今瀬弘美、小田光枝、神谷多恵子、北村圭衣子、榊原民恵、真田薫、竹山満里子、中嶋厚、三島きょう子 ほか、計10名

第4期:赤尾和江、天野恵子、荒川千華、井戸田早苗、加藤浩司、加藤真由美、久保田典子、栗木恵子、坂田典子、杉浦直子、田内徳隆、土田晶子、寺西春美、中野芳枝、安井まり子、山田由紀子 ほか、計18名

第5期:赤尾和子、加藤貞典、北川恭子、佐藤紀子、鈴木律子、瀧川友子、永田高志、野口健弘、原田直美、引地順子、平山千枝、藤井万巳、村松敦子、森和美、山田優子 ほか、計21名

第6期:伊藤えつ子、太田久美、荻野知恵子、梶田清美、加藤枝里香、坂井千恵、中村俊雄、林梨加 ほか、計14名

第7期:池本せい子、井田紀子、井上静夫、今井康夫、遠藤明子、太田美奈、大林千春、小澤智子、加藤たみ枝、加藤久子、末原みとせ、宗宮有紀子、蔦森敦子、中尾隆博、長尾理香、中川和彦、平尾真実、本多悠子、三浦有美、三島悠、道倉明子、安江あおい、安原栄里、横井文代、横山野美、吉川優実 ほか、計30名

### (2)定例会

定例会は原則として毎月第2土曜日の午前中に開催した。ボランティア間の連絡・調整の他に以下のような研修を行った。

日時	時間	内容	講師
4月14日	午前10時～12時	係活動の話し合い	ボランティア
5月12日	午前10時～12時	愛美社とサンサシオンの画家たちについて	山田学芸係長
6月9日	午前10時～12時	フォーヴィスムとその影響について	深谷学芸課長
7月14日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅱについて	笠木学芸員／竹葉学芸員
8月4日	午前10時～12時	作品のダメージと保存・修復について	角田学芸員
9月8日	午後10時～12時	名品コレクション展Ⅲについて	清家学芸員／原沢学芸員
10月13日	午前10時～12時	抽象彫刻の流れについて	保崎学芸員
11月10日	午前10時～12時	対話型子ども向けギャラリートークのスキルアップ	原沢学芸員
12月8日	午前10時～12時	Oguiss その生涯と作品	稲沢市荻須記念美術館／山田館長
1月12日	午前10時～12時	ギャラリートークの参考になる他館の作品について	清家学芸員
2月9日	午前10時～12時	ボランティア交流会	ボランティア
3月9日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅰについて	原沢学芸員

### (3)ガイド活動

#### ①常設展ギャラリートーク

休館日を除く毎日(午前11時～・午後2時～)、一般を対象とした約1時間のガイドツアーをボランティア2名が担当した。

活動日数 223日間(「名古屋まつり」を除く)

延べ参加者数 1,611名

#### ②特別展ギャラリートーク

特別展ギャラリートークは、ボランティアに参加の希望を募り、展覧会ごとに担当を分けて行う。ギャラリートークの開催日、開始時間、方法などは、担当ごとに選出するまとめ役を中心にした話し合いによって決定する。登録後2年を経過したボランティアのメンバーが活動している。

##### a)いのちの煌めき 田淵俊夫展

開催日 4月17日、18日、21日、24日、25日、27日、29日、5月2日、6日、8日、9日、10日、13日、16日、17日、18日、19日(計17日)

時間等 火、水、木、金、土、日  
10時30分～／13時30分～

担当 1期:1名、2期:2名、3期:2名、4期:2名、5期:3名、6期:1名 計11名  
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ864人

##### b)ポジション2012名古屋発現代美術

開催日 6月10日、14日、15日、17日、23日、24日、29日、7月1日、7日、8日、15日(計11日)

時間等 木、金、土、日  
10時30分～／13時30分～

担当 3期:3名、4期:1名、5期:4名、6期:2名 計10名  
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ198人

##### c)大エルミタージュ美術館展

開催日 8月7日、8日、9日、10日、16日、17日、21日、22日、23日、24日、28日、29日、30日、31日、9月4日、5日、6日、7日、11日、12日、13日、14日、19日、20日、21日(計25日)

時間等 月(祝)、火、水、木、金、  
10時30分～／13時30分～ (9月13日以降は、13時30分～のみ)

担当 1期:1名、2期:2名、3期:2名、4期:1

名、5期:6名、6期:3名 計15名

2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ1,368人

##### d)青木野枝展 ふりそそぐものたち

開催日 11月13日、14日、16日、21日、23日、27日、28日、29日、30日、12月4日、6日、9日、12日、13日、15日(計15日)

時間等 火、水、木、金、土、日、  
10時30分～／13時30分～

担当 2期:1名、3期:1名、4期:2名、5期:4名、6期:2名 計10名  
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ337人

#### ③案内活動

総合案内・図書室案内を該当月の一定期間(定休日及び金曜日を除く)を、ボランティアで運営した。活動日一日につき4人(午前2人/午後2人)、延べ226人のボランティアが担当した。

〈活動日〉

月	日	月	日
4	_____	10	_____
5	15 16 17 19 20	11	_____
6	_____	12	11 12 13 15 16
7	10 11 12 15 16	1	_____
8	18 19 21 22 23 25 26 28 29 30	2	_____
9	15 16 17 22 23 25 26 27 29 30	3	_____



ガイド活動

## (4)サポート活動

### a) 係の活動

ボランティア全員が4つの係に分かれ、各まとめ役を中心に円滑なボランティア活動を支えるための活動を行っている。

#### ・体験活動係

「キッズの日」各プログラムの実施に際し、スタッフの募集や実施までの連絡調整、教材の下準備、当日の運営サポート、実施後のボランティア定例会での活動報告を主に受け持った。また、当日の円滑な事業運営や鑑賞対象となる作品への理解を深めるために、学芸員との事前打ち合わせや意見交換を随時行った。

#### ・資料係

常設展の展示替ごとにギャラリートークの参考となる資料を選別して、ボランティアに配布したり、特別展等で使用した図書資料や解説会の記録などを収集し、後に参照しやすいよう整理して保存するなど、資料の管理全般に携わった。

#### ・研修係

美術館外の研修として、「マルク・シャガールー愛をめぐる追想」展(岐阜県美術館)の見学と、銅版画の制作体験を企画・実施した。また、館内での学習の機会として、連続講座「絵画を読む」、「ギャラリートークのスキルアップ勉強会」、美術関連の映画・ドキュメンタリーの上映会、ボランティア定例会での特別レクチャー(講師:山田美佐子 稲沢市荻須記念美術館館長)を企画・実施した。

#### ・団体対応係

学校等の団体鑑賞を円滑に行うための取りまとめ他、係のメンバーによる話し合いを行い、より充実したギャラリートークのための検討を行った。

### b) 係以外の活動

#### 臨時休館中に出前アート体験

1月～3月の臨時休館中に、ボランティアと職員が学校(6校)に赴き、アートカードを使った授業を行った。ボランティアが主体となって小学校低学年向けのプログラムと高学年向けのプログラムを作成し、実施した。当日は、司会進行と各グループの担当をボランティアが行った。

#### 内 容 低学年(1～3年生)

##### ①イントロダクション

アートカードの作品の部分拡大図をプロジェクタで投影し、どの部分かをあてる。

##### ②マッチングゲーム

カードを全部裏にして広げ、順番に2枚めくって、共通点を言う。

##### ③プレゼントしたいこの1枚

カードを全部表にして広げ、ひとりずつカードを選び、誰になぜプレゼントしたいかを言う。

#### 高学年(4～6年生)

##### ①イントロダクション

アートカードの作品の部分拡大図をプロジェクタで投影し、どの部分かをあてる。

##### ②物語を作る

カードを全部裏にして一箇所に積み、順番に1枚めくって物語を作る。それをリレー方式で繋げていく。

##### ③教室に飾りたいこの1枚

カードを全部表にして広げ、ひとりずつカードを選び、なぜそれを飾りたいかを言う。

#### 実施校等

##### ①中区・大須小学校

日 時 1月9日(水)10:40～11:25

学 年 6年生1クラス37名

担当職員 保崎裕徳(学芸員)

スタッフ (ボランティア)8名

##### ②南区・白水小学校

日 時 1月18日(金)9:40～12:25

学 年 1年生1クラス31名、3年生1クラス36名、4年生1クラス37名

担当職員 中野毅(学芸課主査)

スタッフ (ボランティア)7名

##### ③中川区・正色小学校

日 時 1月22日(火)9:50～10:35

学 年 4年生1クラス22名

担当職員 都築佳孝(総務課主事)、原沢暁子(学芸員)

スタッフ (ボランティア)4名

##### ④守山区・天子田小学校

日 時 1月29日(火)9:45～11:35

学 年 2年生2クラス57名

担当職員 清家三智(学芸員)

スタッフ (ボランティア)6名

##### ⑤緑区・緑小学校

日 時 2月7日(木)9:45～11:35

学 年 3年生3クラス48名

担当職員 原沢暁子(学芸員)

スタッフ (ボランティア)5名

##### ⑥北区・辻小学校

日 時 2月12日(火)9:40～11:25

学 年 5年生2クラス57名

担当職員 岸正子(総務課主事)

スタッフ (ボランティア)7名



臨時休館中の出前アート体験

## (5)その他

### 名古屋まつり特別企画 まるっと一日わくわくアート

**日 時** 2012年10月21日(日) 9:30~17:00  
**場 所** 地下一階常設展示室、屋外美術館敷地内など  
**スタッフ** ボランティア35名  
**内 容** 常設展が無料公開となる名古屋まつりの日にあ

わせて、普段ボランティアが行っているようなギャラリートークをより多くの方に体験していただくという趣旨の企画。来館者がいつ入館しても何らかのギャラリートークに参加できるように、常設展の作品のガイド、野外を中心とした彫刻のガイド、建築のガイドを1時間ごとに実施した。

① **1点トーク**…ボランティアのリードにより、来館者が1つの作品をじっくり鑑賞するギャラリートーク。1点につき約15分かけて、4点の作品を案内した。10:00~、12:00~、15:00~実施。

② **彫刻ガイド**…美術館の屋外を巡りながら、様々な彫刻作品を案内するガイドツアー。所要時間約30分。11:00~、16:00~実施。

③ **建物ガイド**…美術館の内外を巡りながら、黒川紀章設計の特徴ある建物を紹介するガイドツアー。所要時間約60分。14:00~実施。

また、作品案内とは別に、来館者が楽しめるイベントとして、「アートカードで遊ぼう」「アート診断」を実施した。

④ **アートカードで遊ぼう**…主に子どもを対象として、当館の所蔵品が印刷されたアートカードを使いゲームを行った。所要時間約30分。11:30~、14:30~実施。

⑤ **アート診断**…地下一階のロビーにて、「はい」か「いいえ」で解答する質問カードを数枚床にはりつけ、解答の矢印に沿って進むと、最後に来館者に適したカテゴリー(エコール・ド・パリ、メキシコ近代美術、郷土の美術、現代の美術、建物・彫刻の5種類)がどれか示されるというもの。随時参加。

上記の活動以外に、美術館運営のサポートとして、「監視補助」、「ロビー案内」、「美化運動」において、ボランティアの協力を得た。「監視補助」は、当日の会場の混雑を考慮し、人の流れが滞る箇所や人が触れそうな作品の箇所にボランティアが立ち、適切に声をかけてトラブルを防いだもの。「ロビー案内」は、来館者に催事の案内や会場への誘導を行ったもの。「美化運動」は、名古屋まつりに先立って美術館周辺の清掃を行ったもので、10月6日(土)に実施した。

### 3 協力会

名古屋市美術館協力は、美術館の活動等に協力するとともに、市民の美術に関する知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、芸術文化の振興発展に寄与することを目的に活動を行っています。

<会員数>		<新規・継続別> (平成25年3月31日現在)		
		新規	継続	計
特別会員	8名	特別会員 8名		8名
一般会員	128名	一般会員 120名	8名	128名
ユース会員	10名	ユース会員 10名		10名
ペア会員	28名	ペア会員 28名		28名
(計)	174名	(計) 166名	8名	174名

#### 平成24年度美術館協力会事業報告

- 1 展覧会ギャラリー・トークの開催
  - 「田淵俊夫展」 平成24年4月15日(日) 66名参加
  - 「ポジション2012 名古屋発現代美術」 平成24年6月10日(日) 31名参加
  - 「大エルミターージュ美術館展」 平成24年8月5日(日) 88名参加
  - 「青木野枝展」 平成24年12月1日(日) 37名参加
- 2 美術館見学ツアーの実施
  - 春 平成24年4月29日(日) 24名参加  
京都国立博物館、京都国立近代美術館、重森三玲庭園美術館
  - 秋 平成24年11月17日(土)～18日(日) 13名参加  
大三祇神社宝物館、大三島美術館、ところミュージアム大三島伊藤豊雄建築ミュージアム、岩田健母と子のミュージアム犬島アートプロジェクト、李禹煥(リ・ウーファン)美術館
- 3 作家を囲む会
  - 平成24年4月22日(日) 「田淵俊夫氏」を囲む会 31名参加
  - 平成24年6月9日(土) 「ポジション展出品作家」を囲む会 32名参加
  - 平成24年12月1日(土) 「青木野枝氏」を囲む会 25名参加
- 4 美術館鑑賞ミニツアー
  - 「日本美術の至宝展」名古屋ボストン美術館 平成24年7月1日(土) 47名参加
  - 「マックス・エルンスト展」愛知県美術館 平成24年7月15日(日) 18名参加
  - 「マリー・アントワネット物語展」名古屋市博物館 平成24年8月19日(日) 34名参加
  - 「芭蕉展」名古屋市博物館 平成24年10月13日(日) 13名参加
  - 「青木野枝展」豊田市美術館 平成24年12月9日(日) 32名参加
  - 「古事記1300年 大須観音展」名古屋市博物館 平成25年1月6日(日) 16名参加

- 「クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」愛知県美術館 平成25年1月27日(日) 29名参加
- 「ひなまつり展」徳川美術館 平成25年2月17日(日) 24名参加
- 「円山応挙展」愛知県美術館 平成25年3月17日(日) 36名参加

- 5 ブログの運用  
平成24年度ブログ閲覧状況[投稿49件、閲覧数10,336回、ユーザー数(延)2,635名]
- 6 オリジナル・カレンダーの作成及び配付  
青木野枝氏のオリジナル原画によるカレンダー 250部
- 7 催しものの案内  
特別展、常設展、講演会などの情報提供、年間展覧会案内、アートペーパーの配付
- 8 作品の寄贈  
オリジナル・カレンダー1件1点  
平成25年1月24日の資料収集審査委員会で決定
- 9 総会の開催  
平成24年6月10日(日) 20名参加(委任状74名)

### 4 図書室

図書室の資料の充実を図るとともに、そのときどきの特別展に即した参考資料やビデオ番組を揃えるなどして、利用者の多様なニーズに応えるよう努力しています。

#### 図書資料分類別冊数一覧 (平成25年3月31日現在)

分類	和書	洋書
辞書、辞典、年鑑、図書目録	569(2)	223(0)
画集、美術全集、所蔵品目録	7,144(52)	3,451(13)
展覧会図録	11,677(165)	1,461(1)
研究書、技法書	314(1)	12(0)
年報、紀要、報告書	6,218(248)	22(2)
美術雑誌	12,501(70)	2,494(19)
その他(美術教科書、一般図書)	2,496(9)	1,093(1)
小計	40,919(547)	8,756(36)
総計	49,675(583)冊	

( )は今年度の受け入れ図書冊数

#### 入室者数 16,691名

4月	576名	10月	283名
5月	759名	11月	563名
6月	398名	12月	350名
7月	813名	1月	13名
8月	5,987名	2月	0名
9月	6,809名	3月	140名

### 出版・制作物一覧

#### 美術館ニュース「アートペーパー」No.90、91、92

美術館の活動状況や美術・文化についての様々な情報を広報するものです。

A 2版、部数：各5,000部

#### 特集記事

- 90号：美人画と浮世絵：渡辺幾春の場合
- 91号：守り、伝え、遺すー《点音in白川公園》のその後
- 92号：「郷土の美術」を発掘することの意味とは…。



#### 年報

平成23年度の美術館活動全般の詳細な記録です。

A 4版、66頁、PDFデータとして当館ホームページに掲載



#### 年間案内

平成25年度一年間の展示会の情報を告知するものです。

A 4版変形、部数：20,000部



#### 団体向けガイドトークのご案内

学校などの団体が常設展見学をする際の団体向けガイドトークの申し込み方法について記したものです。

A 4版、モノクロ、部数：8,000部



#### 所蔵作品解説シートの増し刷り

常設展で無料配布している所蔵作品についての解説シートです。

B 6版、モノクロ、一部改訂、増刷18種、部数：96,000部





平成24年度は、購入2点、受贈174点、受託12点の合計188点の作品を新たに受け入れました。

まず購入では、赤瀬川原平の《千円札裁判押収品（かなづち）》と《千円札裁判押収品（ボトルI）》の2点を収集しました。赤瀬川原平の作品については、代表作の《復讐の形態学（殺す前に相手をよく見る）》をはじめ15点の作品をすでに収蔵していましたが、今回の2点を加えることによって作家の全体像をほぼ俯瞰できる内容となりました。

受贈については、先ず特別展を開催した青木野枝氏に制作委嘱したカレンダーと、その原画がコレクションに加わりました。名古屋市美術館協会の依頼によるオリジナル・カレンダーの制作は2006年に始まり、今回で7年目になりますが、作品と呼べるようなユニークかつ貴重なカレンダーが毎年制作されています。

近年郷土作家の作品の貴重な受贈が増えていますが、地元のシュール系の重要な作家の一人猪飼重明の受贈もその一つです。美術文化協会を中心に地元で活躍した猪飼の、戦後間もない時期の貴重な作品6点が今回まとまって受贈されました。

郷土を代表する洋画家の一人、大澤海蔵の作品についてはすでに8点を収蔵していますが、今回の作品は大澤が帝展で初入選を果たした初期の貴重な作例で、主題的にも当時の帝展や光風会などで頻繁に取り上げられたモダンな雰囲気をよく表現しています。

1970年代から90年代にかけて関西を中心に活躍した木下佳通代について、作風の全体像を知ることができ

る様々な技法を用いた作品11点が今回まとめて受贈されました。

郷土を代表する日本画家の一人嶋谷自然の作品については、すでに2点収蔵されていますが、今回受贈したのは亡くなる前年に制作された最晩年の作品で、写生と装飾が一体化したこの作家の特徴がよく出ている作品です。

現代日本画を代表する作家の一人、田淵俊夫は愛知県立芸術大学で長らく教鞭を執っており、平成24年度には特別展で回顧展を開催し、その芸術の全貌を紹介しています。今回受贈した《緑溢れる頃》は、この回顧展に出品されていた作品で、近年作者が強い関心を抱いている墨画の表現を追求した作品です。

佃政道は郷土を代表する木版画家の一人です。また、北川民次や杉本健吉などすでに当館で収蔵している作家とも関係が深く、戦後の郷土美術を語る上で欠くことのできない作家の一人です。今回受贈したのは代表作の『大和路』シリーズに加えて、『とうかい事物考』や『中部の女』といった挿絵として制作された作品など、この作家の全体像を知ることができる内容となっています。

初期文展で活躍しながら夭逝した水野清亭の作品については、平成23年度に代表作と思われる屏風3点を収蔵しています。今回は、その後の調査で明らかになった掛け軸2点を新たに受贈しました。水野清亭については略歴をはじめ未だ不明な点も多く、今後継続的に調査を続けていくことによって全体像を明らかにしたいと思います。

## (1) 購入



1. 赤瀬川原平(1937- )  
AKASEGAWA, Genpei  
《千円札裁判押収品・模  
型千円札梱包作品(かなづ  
ち)》  
Hummer packed by note model,  
Impounded Object of 1,000  
Yen Note Trial  
1963年  
紐, かなづち  
sheets of model one-thousand-  
yen notes, string, wire, paper  
tags, hammer  
25.0×7.0×4.0cm



2. 赤瀬川原平(1937- )  
AKASEGAWA, Genpei  
《千円札裁判押収品・模  
型千円札梱包作品(ボト  
ル)》  
Bottle packed by 1,000 yen  
note modell, Impounded Object  
of 1,000 Yen Note Trial  
1963年  
紐, ボトル  
sheets of model one-thousand-  
yen notes, string, wire, paper  
tags, bottle  
25.0×10.0×6.0cm

## (2) 受贈

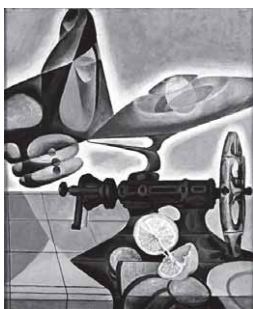
### ① 資料



1. 青木野枝(1958- )  
AOKI, Noe  
《ながれつつける》  
"nagare tsuzukeru(endlessly flowing)"  
2012年  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
イメージ: 28.8×41.8cm 用紙: 39.2×46.1cm  
青木野枝氏 寄贈



2. 猪飼重明(1914-1992)  
IKAI, Shigeaki  
《シャベルについて》  
On a Shovel  
1945年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
63.5×88.3cm  
猪飼昭子氏 寄贈



3. 猪飼重明(1914-1992)  
IKAI, Shigeaki  
《偶像の手術》  
An Operation of an Idol  
1950年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
72.4×60.4cm  
猪飼昭子氏 寄贈



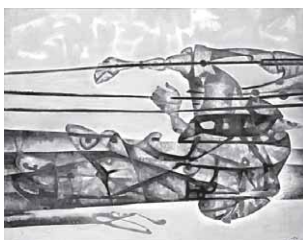
4. 猪飼重明(1914-1992)  
IKAI, Shigeaki  
《いやな季節》  
An Undesirable Season  
1951年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
90.7×72.6cm  
猪飼昭子氏 寄贈



5. 猪飼重明(1914-1992)  
IKAI, Shigeaki  
《あぎれた人々》  
Easygoing People  
1953年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
65.0×90.7cm  
猪飼昭子氏 寄贈



6. 猪飼重明(1914-1992)  
IKAI, Shigeaki  
《拓く》  
Break up  
1954年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
89.0×130.5cm  
猪飼昭子氏 寄贈



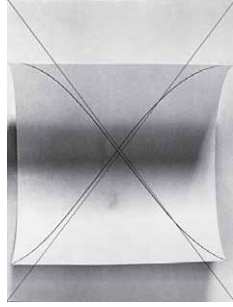
7. 猪飼重明(1914-1992)  
IKAI, Shigeaki  
《原子野B》  
Atomic Fields B  
1954年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
91.0×116.4cm  
猪飼昭子氏 寄贈



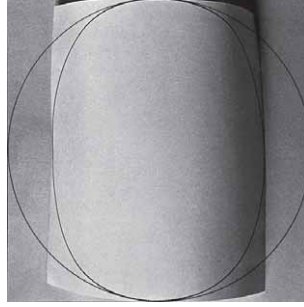
8. 大澤海蔵(1906-1971)  
OHSAWA, Kaizo  
《庭》  
Garden  
1928年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
91.0×116.8cm  
大澤恵子氏 寄贈



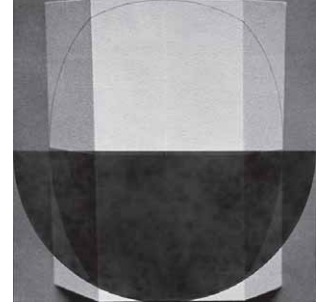
9. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《UNTITLED》  
UNTITLED  
1975年  
シルクスクリーン、フェルトペン・紙  
silkscreen and color felt-pen on paper  
111.4×79.0cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



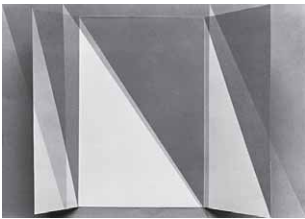
10. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'78-6-B》  
'78-6-B  
1978年  
フェルトペン・写真  
color felt-pen on photograph  
72.0×54.0cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



11. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'78-16》  
'78-16  
1978年  
フェルトペン・写真  
color felt-pen on photograph  
61.3×61.2cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



12. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'78-35-A》  
'78-35-A  
1978年  
アクリル・写真  
acrylic on photograph  
70.2×70.1cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



13. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'79-1-C》  
'79-1-C  
1979年  
アクリル・写真  
acrylic on photograph  
67.0×89.5cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



14. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《Pa-C'80-111》  
Pa-C'80-111  
1980年  
パステル・紙  
pastel on paper  
75.8×56.0cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



15. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《Pa-C'80-117》  
Pa-C'80-117  
1980年  
パステル・紙  
pastel on paper  
76.0×56.0cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



16. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《Pa-C'81-6》  
Pa-C'81-6  
1981年  
パステル・紙  
pastel on paper  
76.0×56.0cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



17. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'86-CA363》  
'86-CA363  
1986年  
油彩・キャンバス  
oil on canvas  
130.3×80.3cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



18. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'90-CA605》  
'90-CA605  
1990年  
油彩・キャンバス  
oil on canvas  
218.2×290.9cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



19. 木下佳通代(1939-1994)  
KINOSHITA, Katsuyo  
《'93-CA799》  
'93-CA799  
1993年  
油彩・キャンバス  
oil on canvas  
145.4×112.1cm  
竹村楊子氏、駒田哲男氏 寄贈



20. 嶋谷自然(1904-1993)  
SHIMAYA, Shizen  
《風の日》  
The Calm Day  
1992年  
紙本着彩  
color on paper  
169.0×223.0cm  
市野麗生氏 寄贈



21. 田淵俊夫(1941- )  
TABUCHI, Toshio  
《緑溢れる頃》  
Verdant Season  
2005年  
紙本墨画、屏風(四曲一隻)  
chinese ink on paper  
175.0×368.0cm  
田淵俊夫氏 寄贈



22. 水野清亭(1893-1920)  
MIZUNO, Seitei  
《柿、雀》  
Sparrows on the Persimmon Tree  
n.d.  
紙本着彩、軸装  
color on paper  
58.9×93.4cm  
水野勇氏 寄贈



23. 水野清亭(1893-1920)  
MIZUNO, Seitei  
《清水陽春》  
View of Kiyomizu-dera Temple in Spring  
n.d.  
紙本着彩、軸装  
color on paper  
172.8×82.0cm  
水野勇氏 寄贈



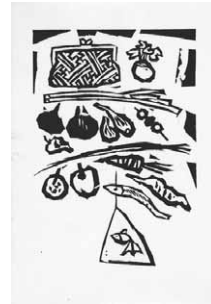
24. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《四日市(上)》  
Yokkaichi-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
19.8×14.3cm



25. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《四日市(中)》  
Yokkaichi-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×19.4(台紙15.6×21.3)cm



26. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《四日市(下)》  
Yokkaichi-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
18.5×13.9(台紙18.5×14.0)cm



27. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《岡崎(上)》  
Okazaki-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.0cm



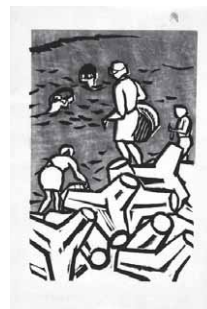
28. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《岡崎(下)》  
Okazaki-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×23.2cm



29. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《志摩(上)》  
Shima-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



30. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《志摩(中)》  
Shima-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
17.8×11.3(台紙23.2×17.2)cm



31. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《志摩(下)》  
Shima-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



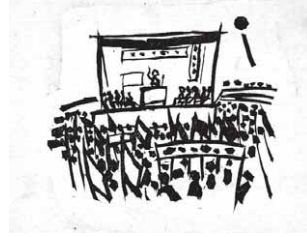
32. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《郡上》  
Gujo  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
21.5×14.1(台紙21.8×14.1)cm



33. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《半田(上)》  
Handa-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.5×22.9cm



34. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《半田(中)》  
Handa-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
イメージ11.5×18.9(用紙16.0×23.3)cm



35. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《半田(下)》  
Handa-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.3×18.3(台紙16.6×22.9)cm



36. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《龜山(上)》  
Kameyama-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



37. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《龜山(下)》  
Kameyama-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.3×18.3(台紙16.6×22.9)cm



38. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《美濃(上)》  
Mino-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.5×22.9cm



39. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《美濃(下)》  
Mino-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.7×23.1(台紙17.5×24.5)cm



40. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《浜松(上)》  
Hamamatsu-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
18.5×11.7(台紙18.5×12.8)cm



41. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《浜松(中)》  
Hamamatsu-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.2×15.9cm



42. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《浜松(下)》  
Hamamatsu-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×15.8cm



43. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《瀬戸》  
Seto  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
12.9×18.6cm



44. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《伊勢(上)》  
Ise-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.2cm



45. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《伊勢(中)》  
Ise-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
20.7×12.7(台紙21.0×14.1)cm



46. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《伊勢(下)》  
Ise-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×24.0(台紙16.2×24.0)cm



47. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《津島(上)》  
Tsushima-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
9.5×17.7(台紙16.5×24.7)cm



48. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《津島(下)》  
Tsushima-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.0×15.7cm



49. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《豊田(上)》  
Toyota-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.5×22.9cm



50. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《豊田(中)》  
Toyota-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.5×23.2cm



51. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《豊田(下)》  
Toyota-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.6×10.4(台紙19.0×13.4)cm



52. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《大垣(上)》  
Ogaki-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
22.7×15.0cm



53. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《大垣(中)》  
Ogaki-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×23.4cm



54. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《大垣(下)》  
Ogaki-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.0cm



55. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《安城(上)》  
Anjo-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.7×22.5cm



56. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《安城(下)》  
Anjo-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



57. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《津(上)》  
Tsu-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



58. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《津(中)》  
Tsu-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.6×23.2cm



59. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《高山(上)》  
Takayama-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.4×24.1cm



60. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《高山(中)》  
Takayama-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.2×23.5cm



61. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《高山(下)》  
Takayama-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.3cm



62. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《設楽(上)》  
Shitara-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.3cm



63. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《設楽(中)》  
Shitara-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.0cm



64. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《設楽(下)》  
Shitara-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.4×22.4cm



65. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《桑名(上)》  
Kuwana-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
22.7×15.7cm



66. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《中津川(上)》  
Nakatsugawa-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



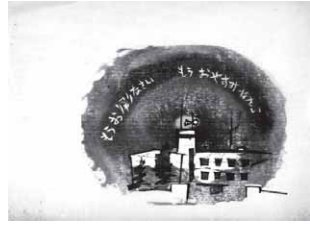
67. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《中津川(下)》  
Nakatsugawa-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



68. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《伊賀上野(上)》  
Igaeno-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.3(台紙16.2×23.3)cm



69. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《伊賀上野(下)》  
Igauenno-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.2×15.8cm



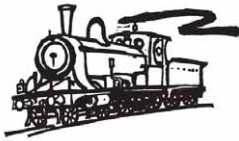
70. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《犬山(上)》  
Inuyama-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
18.1×24.7cm



71. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《犬山(下)》  
Inuyama-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.7×20.1(台紙15.6×21.0)cm



72. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《刈谷(上)》  
Kariya-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.3cm



73. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《刈谷(下)》  
Kariya-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.5×20.9cm



74. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《尾鷲(上)》  
Owase-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



75. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《尾鷲(下)》  
Owase-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×15.9cm



76. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《多治見(下)》  
Tajimi-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
20.7×15.1cm



77. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《松坂(上)》  
Matsusaka-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.4×22.8cm



78. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《松坂(下)》  
Matsusaka-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



79. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《西尾(上)》  
Nishio-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.0×21.2cm



80. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《西尾(下)》  
Nishio-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
20.6×14.1cm





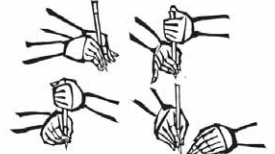
81. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《岐阜(上)》  
Gifu-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



82. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《岐阜(中)》  
Gifu-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
21.0×15.4cm



83. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《岐阜(下)》  
Gifu-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
17.9×12.0(台紙21.0×15.8)cm



84. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《鈴鹿》  
Suzuka  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.1×23.2cm



85. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《一宮(上)》  
Ichinomiya-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.8×23.1cm



86. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《一宮(下)》  
Ichinomiya-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.6×21.8cm



87. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《関(上)》  
Seki-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



88. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《関(下)》  
Seki-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
22.3×14.1cm



89. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《渥美(上)》  
Atsumi-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.3×21.0cm



90. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《渥美(下)》  
Atsumi-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.1cm



91. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《名古屋(1)》  
Nagoya-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×22.1cm



92. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《名古屋(2)》  
Nagoya-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.4cm



93. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《名古屋(3)》  
Nagoya-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



94. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《名古屋(4)》  
Nagoya-4  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



95. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《豊橋(上)》  
Toyohashi-1  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.9×19.0cm



96. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《豊橋(中)》  
Toyohashi-2  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.7×24.9cm



97. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《豊橋(下)》  
Toyohashi-3  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.3×16.0cm



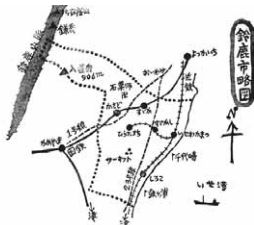
98. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」  
Women in the Chubu Region  
《題字「中部の女」》  
The Title Lettering for "Women in the Chubu Region"  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×11.8cm



99. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」関連作品  
A Work Incident to "Women  
in the Chubu Region"  
《関(下)別案》  
Version for "Sekai-2"  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
22.7×15.8cm



100. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」関連作品  
A Work Incident to "Women in  
the Chubu Region"  
《桑名別案》  
Version for "Kuwana"  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
12.1×16.6(台紙21.6×17.0)cm



101. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」関連作品  
A Work Incident to "Women  
in the Chubu Region"  
《鈴鹿別案》  
Version for "Suzuka"  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.7×21.2cm



102. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」関連作品  
A Work Incident to "Women  
in the Chubu Region"  
《[[長久手]]》  
[Nagakute]  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.3×16.0cm



103. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「中部の女」関連作品  
A Work Incident to "Women  
in the Chubu Region"  
《志摩(下)下絵》  
Sketch for "Shima-2"  
1966年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
22.0×14.8cm



104. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「どうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《せともの①》  
Setomono Pottery-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.2×16.0cm



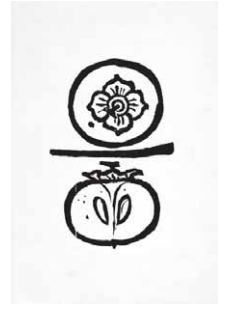
105. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《せともの②》  
Setomono Pottery-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.1cm



106. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《せともの③》  
Setomono Pottery-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×15.9cm



107. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《せともの④》  
Setomono Pottery-4  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.1cm



108. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《美濃の柿(上)》  
Persimmon from Mino-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.3×16.1cm



109. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《美濃の柿(中)》  
Persimmon from Mino-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.2cm



110. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《美濃の柿(下)》  
Persimmon from Mino-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.3×16.0cm



111. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《堀川》  
Horikawa Canal  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×23.3cm



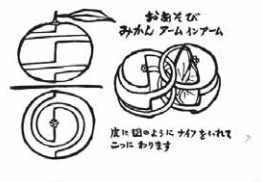
112. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《三ヶ日ミカン①》  
Mandarin from Mikkabi-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.2cm



113. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《三ヶ日ミカン②》  
Mandarin from Mikkabi-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.1×23.6cm



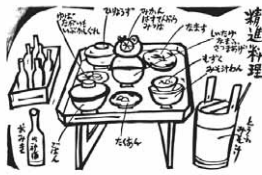
114. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《三ヶ日ミカン③》  
Mandarin from Mikkabi-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.1cm



115. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《三ヶ日ミカン④》  
Mandarin from Mikkabi-4  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.6×23.6cm



116. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《豊川稲荷①》  
Toyokawainari Temple-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



117. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《豊川稲荷②》  
Toyokawainari Temple-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.0×23.7cm



118. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《豊川稲荷③》  
Toyokawainari Temple-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.1cm



119. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《豊川稲荷④》  
Toyokawainari Temple-4  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



120. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《豊川稲荷⑤》  
Toyokawainari Temple-5  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×23.7cm



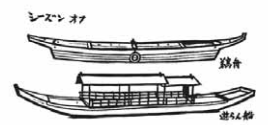
121. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu  
《長良川ウヰ飼い①》  
Cormorant Fishing on the Nagara River-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.1×23.6cm



122. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu  
《長良川ウヰ飼い②》  
Cormorant Fishing on the Nagara River-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.1×23.5cm



123. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu  
《長良川ウヰ飼い③》  
Cormorant Fishing on the Nagara River-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



124. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu  
《長良川ウヰ飼い④》  
Cormorant Fishing on the Nagara River-4  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×23.4cm



125. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu  
《長良川ウヰ飼い⑤》  
Cormorant Fishing on the Nagara River-5  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.2×16.0cm



126. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《郡上おどり(上)》  
Gujo Odori Dancing-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×15.9cm



127. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《郡上おどり(中)》  
Gujo Odori Dancing-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.7×16.2cm



128. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation  
into Things in the Tokai  
Region of Honshu  
《郡上おどり(下)》  
Gujo Odori Dancing-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.1cm



129. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《浜名湖ウナギ(上)》  
Eel from Hamanako Lake-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.1cm



130. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《浜名湖ウナギ(中)》  
Eel from Hamanako Lake-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.2cm



131. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《浜名湖ウナギ(下)》  
Eel from Hamanako Lake-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.2cm



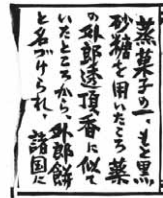
132. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《ういろう①》  
Uiro Sweet Rice Jelly-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.1(台紙23.7×16.1)cm



133. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《ういろう②》  
Uiro Sweet Rice Jelly-2  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.2×23.6cm



134. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《ういろう③》  
Uiro Sweet Rice Jelly-3  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.2cm



135. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《ういろう④》  
Uiro Sweet Rice Jelly-4  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.2cm



136. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」  
Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu  
《題字「とうかい事物考」》  
The Title Lettering for "Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu"  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
14.8×10.0cm



137. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu"  
《題字「とうかい事物考」》  
The Title Lettering for "Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu"  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
10.0×14.7cm



138. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu"  
《せともの》  
Setomono Pottery  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.4×16.0cm



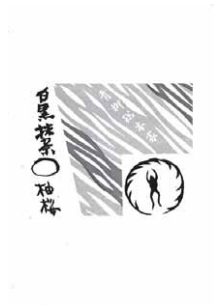
139. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu"  
《堀川》  
Horikawa Canal  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
16.6×23.7cm



140. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on Investigation into Things in the Tokai Region of Honshu"  
《堀川》  
Horikawa Canal  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×16.2cm



141. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on  
Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu"  
《浜名湖ウナギ》  
Eel from Hamanako Lake-1  
1977-78年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.6×16.1cm



142. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on  
Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu"  
《ういろう》  
Uiro Sweet Rice Jelly  
1977-78年  
インク・紙/木版画・コラージュ  
ink on paper/woodcut, collage  
23.6×16.2cm



143. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
「とうかい事物考」関連作品  
A Work Incident to "Report on  
Investigation into Things in the  
Tokai Region of Honshu"  
《ういろう》  
Uiro Sweet Rice Jelly  
1977-78年  
インク・紙/木版画・コラージュ  
ink on paper/woodcut, collage  
23.7×16.1cm



144. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《東大寺大仏殿》  
Todaiji Temple Daibutsuden Hall  
1958年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
44.1×29.1(46.2×31.9)cm



145. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《談山神社十三重塔》  
Tanzanjinja Shrine Thirteen-storey Pagoda  
1965年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
39.0×27.4(47.0×32.3)cm



146. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《春日大社》  
Kasugataisha  
1968年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
27.1×39.7(31.9×46.3)cm



147. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《奈良公園丸窓》  
Nara Park Marumado  
1972年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
27.2×39.8(32.3×47.0)cm



148. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《於美阿志神社層塔》  
Omiashi Shrine Pagoda  
1972年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
37.8×27.2(47.0×32.3)cm



149. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《弘仁寺本堂》  
Koujinji Temple Main Hall  
1973年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
41.2×27.3(47.2×32.6)cm



150. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《鑑真の墓》  
Grave of Ganjin  
1973年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
27.5×41.4(32.2×46.5)cm



151. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《豪溪》  
Gokei  
1976年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
41.3×27.3(47.3×32.1)cm



152. 佃政道 (1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《高野槇樹叢》  
Kouyamakijusou  
1977年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
41.3×27.3(47.2×32.1)cm



153. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《弘川寺西行墓》  
Grave of Saigyō in Hirokawadera  
1981年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
27.4×41.4(32.3×47.0)cm



154. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《十津川街道城戸》  
Jodo on Totsukawa Highway  
1984年  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
41.3×27.2(46.9×32.3)cm



155. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《聖徳太子廟》  
Shoutokutaishibyō Mausoleum  
n.d.  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
27.0×39.7(32.0×46.3)cm



156. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《宇治川》  
Ujigawa River  
1958年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
28.1×38.5(32.1×47.4)cm



157. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《香久山》  
Mt. Kaguyama  
1960年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
27.2×38.4(31.7×46.3)cm



158. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《室生寺修円の墓》  
Grave of Shuen in Muroji Temple  
1961年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
39.0×27.2(46.3×32.1)cm



159. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《耳成山》  
Mt. Miminashiyama  
1970年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
27.4×39.9(32.2×47.4)cm



160. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《宝幢寺本堂》  
Hodoji Temple Main Hall  
1973年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
27.4×41.3(32.4×47.0)cm



161. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《柏木》  
Kashiwagi  
1973年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
27.3×42.5(46.8×32.2)cm



162. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《室生寺奥院》  
Muroji Temple Inner Sanctuary  
1974年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
41.2×27.4(46.4×32.0)cm



163. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《奥香落鏡岳》  
Mt. Yoroigatake in Okukouchi  
1983年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
41.5×27.5(46.8×32.0)cm



164. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《吉備津の竈》  
Kitchen Stove in Kibitsu Shrine  
(from the series of "Okayama Prefecture")  
1969年  
インク・紙/多色木版画  
ink on paper/color woodcut  
14.7×20.1(台紙15.6×21.0)cm



165. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[立てる裸婦]》  
[Standing Nude]  
n.d.  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
32.3×15.7cm



166. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[座る裸婦]》  
[Sitting Nude]  
n.d.  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
15.9×12.3cm



167. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[横たわる裸婦]》  
[Resting Nude]  
n.d.  
インク・紙/木版画  
ink on paper/woodcut  
23.5×15.9cm

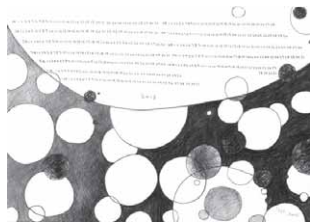


168. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[東京市電乗客心得]》  
[Guideline for Passengers on  
Street Railway in Tokyo]  
n.d.  
インク・紙/着色木版画  
ink on paper/color woodcut  
23.5×16.2cm

## ②特別資料



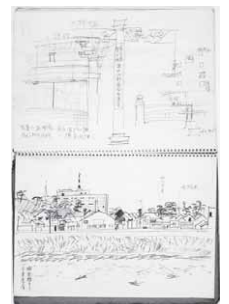
169. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[ハンドバック]》  
[Handbag]  
n.d.  
インク・紙/着色木版画  
ink on paper/color woodcut  
23.5×8.0cm



1. 青木野枝(1958- )  
AOKI, Noe  
《2013年協力会カレンダー〈ながれ  
つつける〉》  
"nagare tsuzukeru(endlessly flowing)" as a  
Calendar of Nagoya City Art Museum  
Membership  
2012年  
印刷・紙  
print on paper  
29.6×41.9cm  
名古屋市美術館協会 寄贈



2. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[中部の女]取材スケッチブック》  
Sketch Book for "Women in the Chubu Region"  
1966年  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
27.0×18.0cm



3. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[中部の女]取材スケッチブック》  
Sketch Book for "Women in the Chubu Region"  
n.d.(c.1966)年  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
28.2×20.2cm



4. 佃政道(1901-1992)  
TSUKUDA, Masamichi  
《[「とうかい事考」取材スケッチブック]》  
Sketch Book for "Report on Investigation into  
Things in the Tokai Region of Honshu"  
n.d.  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
26.7×18.8cm



### (3)資料収集状況一覧

年度別									
年度	分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
58年度		0	26	2	0		1		29
59年度		3	32	50	1		0		86
60年度		4	25	67	20		2		118
61年度		5	23	33	6		1		68
62年度		12	38	0	360		15		425
63年度		0	15	8	13		6		42
元年度		3	7	2	275		1		288
2年度		7	4	2	17		1		31
3年度		1	3	2	122		0		128
4年度		2	10	15	126		3		156
5年度		0	13	4	0		3		20
6年度		0	7	0	1		2		10
7年度		1	27	2	195		0		225
8年度		0	7	0	2		3		12
9年度		0	2	0	17		2		21
10年度		2	8	0	21		0		31
11年度		2	10	0	0		1		13
12年度		0	9	0	0		0		9
13年度		0	8	0	※-83	※83	1	0	9
14年度		1	0	0	167	0	0	0	168
15年度		0	1	0	0	8	2	0	11
16年度		0	0	8	0	0	2	0	10
17年度		0	2	10	0	4	0	0	16
18年度		0	9	0	0	0	0	0	9
19年度		0	2	0	0	0	1	0	3
20年度		0	1	0	0	0	1	0	2
21年度		0	1	7	3	0	0	0	11
22年度		0	1	0	0	0	0	0	1
23年度		0	1	0	0	0	0	0	1
24年度		0	0	0	0	0	2	0	2
購入総計		43	292	212	1,263	95	(2)50	0	(2)1,955
保管転換		16	41	31	35	3	3	1	130
受贈		* (3)76	(10)265	(9)862	(146)347	390	23	(4)1,560	(172)3,523
総計		(3)135	(10)598	1,105	(146)1,645	488	(2)76	(4)1,561	(174)5,608

\* (3)は、本来、24年度受贈が4点であったが、錯誤による受入れに伴う作品1点を払い出したため、3点となった。

### 収集方針別

分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
エコール・ド・パリ	—	29	3	478	0	2	1	513
メキシコ・ルネサンス	—	29	35	381	52	4	0	501
現代の美術		(3)135	(9)78	276	11	(2)61	(1)9	(15)570
郷土の美術	(3)135	(7)405	989	(146)510	425	9	(3)1,551	(159)4,024
総計	(3)135	(10)598	(9)1,105	(146)1,645	488	(2)76	(4)1,561	(174)5,608

( )内の数字は平成24年度収集分

## 鬼頭鍋三郎 《夏日図》

1925年 油彩・キャンヴァス 45.5×53.4cm

額縁を新調し、展示に耐えるようにした。

## 遠山清 《マノハラ水浴》

1927年 キャンヴァス・油彩 73.0×90.7cm

額縁を新調し、展示に耐えるようにした。

## 市ノ木慶治 《二人の子供》

1932年 キャンヴァス・油彩 111.5×130.8cm

額縁を新調し、展示に耐えるようにした。

## 富澤有為男 《姉》

1928年 油彩・キャンヴァス 91.0×72.8cm

画面表裏全体の汚れを除去し、絵具層の部分的な損傷を充填補彩した。

## 岩田信市 《ゼロ次元1》《ゼロ次元2》《ゼロ次元3》

1962年頃 油彩、ペンキ・合板 各183.5×184.5cm

3点いずれも、2枚の木製パネルを合わせて1つの画面を構成している作品だが、接合されておらず、額もない状態であった。パネル裏面の木枠を利用して2枚を接合金具で固定し、四辺に新たに角材を取り付け、安全に取り扱えるようにした。

## マルク・シャガール 《二重肖像》

1924年 油彩・キャンヴァス 130.7×94.7cm

装着している低反射ガラスに指紋状の汚れが複数確認され、著しく目立つようになった。額装を外したところ、ガラス内面全体に油膜のようなものが確認でき、拭き取りなどの作業では改善が困難と判断したため、低反射ガラスを新調し、取り替えた。

## メキシコ革命100年・独立200年記念『独立と革命』(2010年) 1件54点のうち24点

対象作品一覧

セット番号	作家名	作品名	技法	寸法〔イメージ(紙)〕
5	パトリア・コルドバ	夢 168	リトグラフ	65.0×93.4(69.2×99.2) cm
7	フランコ・アセベス・ウマナ	無題	リトグラフ	91.7×66.3(99.7×69.5) cm
11	エミリアーノ・ヒロネラ	トロイヤの列車	ソフト・グラウンド・エッチング	49.5×78.5(69.5×99.4) cm
12	サウル・ビリャ	セルバンド	エッチング、アクアチント	79.0×50.5(99.4×69.7) cm
13	アルトゥーロ・ガルシア・ブストス	農民の表明	木版	66.0×57.5(99.5×69.2) cm
14	イルマ・バラシオス	無題	ソフト・グラウンド・エッチング	59.0×49.0(99.8×69.5) cm
15	エンリケ・ベレス	遺産	エッチング、アクアチント	45.0×78.5(69.5×99.5) cm
22	ラウル・エレーラ	鷲と蛇の戦い	亜鉛板にグラビア印刷、エッチング、アクアチント	63.4×49.4(99.9×69.4) cm
24	ホセ・ラスカロ・トケーロ	革命	グラビア印刷、エッチング、木版	49.3×62.8(69.5×99.5) cm
26	ガブリエル・マコテラ	死者は祝いを嫌う	エッチング、アクアチント	50.0×59.8(69.5×99.7) cm
27	ロベルト・トゥルンブル	旗の提案	エッチング、アクアチント	50.0×58.7(69.5×99.8) cm
29	ハビエ・フェルナンデス	花と打撃の間	エッチング、アクアチント	49.7×59.8(69.4×99.5) cm
30	ホセ・アントニオ・カスティージョ	断片	エッチング	61.0×84.0(69.5×100.0) cm
31	モニカ・サウセード	百 2 百	エッチング、アクアチント	49.8×60.8(69.5×99.8) cm
32	ホセ・マルティン・スライマン	概要	木版、転写	64.0×45.5(99.4×69.8) cm
33	アナ・サントス	混沌を見るもの達	エッチング	49.3×69.2(69.5×99.0) cm
34	ギレルモ・オルギン	メキシコ共和国	エッチング、アクアチント	49.0×70.5(69.7×99.6) cm
35	エロイ・タルシシオ	無題	エッチング、アクアチント	51.1×77.5(69.8×99.9) cm
44	アレハンドロ・ベレス・クロス	起こるであろう事の予感	リトグラフ、セリグラフ	99.8×69.9(99.8×69.9) cm
45	ホエル・レンドン	二つの頭、二本の足、二百年	リノリウム版	69.3×98.3(69.3×98.3) cm
46	ロゲル・フォン・グンテン	チャチャラカの魔女	写真製版	50.0×40.0(82.1×40.0) cm
47	ジョイ・ラビーリャ	花瓶	写真製版	50.0×38.5(82.2×67.5) cm
48	マヌエル・フェルゲレス	無題	グラビア印刷	39.2×53.0(67.3×82.2) cm
50	ミーモ・パラディート	祖国または死	リトグラフ	73.0×53.7(99.5×70.2) cm

24点いずれも中性紙ブックマット装として取扱い状態を改善し、あわせて専用の中性紙保管箱(マット寸110.0×80.0cm用) 2個を作成して保存状態を改善した。また、展示に使用できるようUVカットアクリル付き白木汎用額12個を作成した。

収蔵資料貸出

作家名	作品名	貸出期間・貸出先	展覧会名・展示期間
熊谷守一	烏 ハヶ岳 秋 山椿 冬の夜	H.23.9.20～H.24.6.10 瀬戸内市立美術館 伊丹市立美術館	「小さな画面に無限の世界 熊谷守一展」 H24.2.29～4.10 H24.4.14～6.3
ベン・シャーン	牛乳工場で働く囚人たち 健康診断を受ける囚人たち リディツェ 友達の写真屋	H.23.11.5～H.24.8.13 神奈川県立近代美術館 葉山 岡山県立美術館 福島県立美術館	「ベン・シャーン展」 H.23.12.3～H.24.1.29 H.24.4.8～5.20 H.24.6.3～7.16
田淵俊夫	「緑風」のための下絵2 「大地」のための下絵	H.24.3.15～7.5 メナード美術館	「田淵俊夫展」 H.24.4.7～6.17
須田国太郎	織女	H.24.3.17～H.25.4.14 神奈川県立近代美術館 葉山 茨城県近代美術館 石川県立美術館 鳥取県立博物館 京都市美術館 島根県立美術館	「須田国太郎展 没後50年に顧みる」 H.24.4.7～5.27 H.24.7.21～8.26 H.24.9.1～10.14 H.24.10.20～11.25 H.24.12.1～H.25.2.3 H.25.2.15～4.1
マリー・ローランサン	アポリネールの娘	H.24.4.16～6.29 山梨県立美術館	「マリー・ローランサンと東郷青児展」 H.24.4.28～6.24
田淵俊夫	ヨルバの花 大地悠久、洛陽黄河	H.24.5.25～12.10 渋谷区立松濤美術館 富山県水墨美術館 福島県立美術館	「田淵俊夫展」 H.24.6.5～7.29 H.24.8.10～9.23 H.24.10.6～11.25
中村宏	第21回早稲田祭ポスター	H.24.7.1～9.30 青森県立美術館	「Art & Air ～空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語展」 H.24.7.21～9.17
赤瀬川原平	患者の予言（ガラスの卵）	H.24.7.1～10.14 東京都美術館	「東京都美術館ものがたり展」 H.24.7.15～9.30
マルク・シャガール	聖書（60点）	H.24.7.1～11.10 岡山県立美術館 岐阜県美術館	「マルク・シャガール—愛をめぐる追想—展」 H.24.7.13～8.26 H.24.9.5～10.28
船越桂	「かたい布はときどき話す」のためのドローイング	H.24.8.25～12.10 メナード美術館	「開館25周年記念 船越桂2012展」 H.24.9.15～11.25
赤瀬川原平	押収品—千円札パネル作品1 押収品—カバン 復讐の形態学（殺す前に相手をよく見る） 「大日本零円札」瓶詰	H.24.10.1～H25.3.31 ニューヨーク近代美術館	「東京1955—1970 新しい前衛展」 H.24.11.18～H25.2.25
二世五姓田芳柳	大兵士	H.24.10.15～H25.1.31 横浜美術館	「はじまりは国芳—歌川国芳と近代展」 H.24.11.3～H25.1.14
山本悳右 田島二男 下郷羊雄	伽藍の鳥籠のバージョン 題不詳（帽子） 四つの眼 超現実主義写真集 メセム属	H.24.11.5～H25.1.31 うらわ美術館	「オブジェについて 日本の1920—1970年代展」 H.24.11.17～H25.1.20
岡鹿之助	魚	H.25.3.9～H25.6.23 石橋財団ブリヂストン美術館	「日本人のバリ 1900—1945 石橋コレクションを中心に」 H.25.3.23～H25.6.9
山本悳右	ある人間の思想の発展…霧と寝室と 題不詳（砂浜の裸婦）	H.25.3.10～9.10 ポール・ゲッティ美術館（ロサンゼルス）	「日本近代の境界：濱谷浩と山本悳右」展 H.25.3.26～8.25

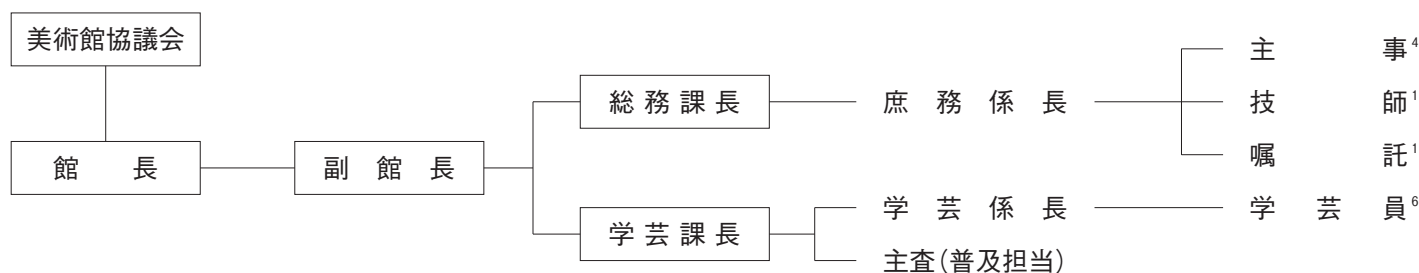
# 入館者一覽 VISITOR

展覧会名	開催期間	有 料								無 料		入場者 総 数	
		個 人				団 体				有 料 合 計	無 料 招待等		
		一般	高大生	小中生	小 計	一般	高大生	小中生	小 計				
常 設 展	平成24年 4月1日(日)～ 平成25年 3月31日(日)	5,162	1,343	無料 (5,214)	6,505	201	182	無料 (1,317)	383	6,888	62,768	69,656	
特 別 展	いのちの煌めき 田淵俊夫展	平成24年 4月7日(土)～ 平成24年 5月20日(日)	14,277	643	186	15,106	22	157	0	179	15,285	6,516	21,801
	ポジション2012 名古屋発現代美術	平成24年 6月2日(土)～ 平成24年 7月16日(月)	2,912	671	138	3,721	41	24	32	97	3,818	2,544	6,362
	大エルミタージュ 美術館展	平成24年 7月28日(土)～ 平成24年 9月30日(日)	121,267	9,937	9,808	141,012	1,201	596	376	2,173	143,185	10,946	154,131
	青木野枝展	平成24年 10月20日(土)～ 平成24年 12月16日(日)	3,611	766	1,018	5,395	3	191	0	194	5,589	2,679	8,268
	特別展小計		142,067	12,017	11,150	165,234	1,267	968	408	2,643	167,877	22,685	190,562
合 計		147,229	13,360	11,150	171,739	1,468	1,150	408	3,026	174,765	85,453	260,218	
											教育普及事業参加者 (展示室内参加者を除く)	54,039	
											総 計	314,257	

## 〈年度別入館者数等〉

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	累 計	
展 覧 会	常 設 展	開催日数	282日	284日	280日	223日	6,667日
		入場者数	92,902人	138,985人	74,130人	69,656人	3,294,076人
	特 別 展	開催日数	237日	209日	228日	185日	4,865日
		入場者数	260,110人	277,317人	218,576人	190,562人	6,575,962人
入 場 者 小 計		353,012人	416,302人	292,706人	260,218人	10,130,256人	
教育普及事業参加者		27,353人	46,783人	17,166人	54,039人	571,091人	
入 館 者 合 計		380,365人	463,085人	309,872人	314,257人	10,387,090人	

## 1 組織図



## 2 美術館協議会

### (1)名古屋市美術館協議会委員

名古屋市立幅下小学校長	佐藤 佳子	愛知県私学協会副会長	大谷 恩
愛知県立旭丘高等学校長	川村 則夫	名古屋市立名東高等学校長	鈴木 靖之
(財)名古屋市文化振興事業団副理事長	相羽 規充	名古屋市社会教育委員	野村由美子
名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 (公募)	遠藤 恒子	名古屋市立小中学校PTA協議会理事	松葉小緒里
名古屋商工会議所文化・観光委員会委員長	陶山 朋子	愛知県立芸術大学准教授	小西 信之
名古屋造形大学教授	滝 茂夫	愛知県美術館長	村田 眞宏
	江本菜穂子	名古屋大学文学研究科准教授	加藤 靖恵

### (2)名古屋市美術館協議会開催状況

日 時	場 所	協 議 題
第1回定例会 平成24年9月10日(月) 15:00~17:00	美術館講堂	○会長及び副会長の選出について ○平成23年度事業実施結果について ○平成24年度事業実施状況について
第2回定例会 平成25年2月5日(火) 14:00~16:00	美術館講堂	○平成24年度事業実施状況について ○平成25年度事業計画案について

## 3 職 員

館 長	松永 恒裕	学芸課長	深谷 克典
副館長	太田 龍峰	学芸係長	山田 諭
総務課長	朝倉 宏	主査(普及)	中野 毅
庶務係長	橘 弘子	学芸員	角田美奈子
副係長	福満 和美		竹葉 丈
主 事	岸 正子		原沢 暁子
	中村 治彦		笠木日南子
	都築 佳孝		清家 三智
技 師	小川 和秀		保崎 裕徳
嘱 託	林 知万夫		

## 4 運営予算

総予算費	内 訳	
224,306千円	特別展関係費	74,569千円
	常設展運営費	14,870千円
	資料関係費	6,250千円
	教育普及事業費	9,322千円
	調査研究費	512千円
	管 理 費	102,943千円

平成24年度名古屋市美術館年報

発行日

平成25年11月

編集・発行

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号  
(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL 052-212-0001

FAX 052-212-0005

## 名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

Tel.052-212-0001 Fax.052-212-0005